

OP MID OP MULTI METER

ITEM
M1231/M1230

品名：OPマルチメーター GPC 対応 品番：M1231 対応：モンキー 125 (JB03・JB05)・ダックス 125 (JB04・JB06)・CT125 (JA65)

品名：OPマルチメーター GPC 対応 品番：M1230 対応：モンキー 125 (JB02)・CT125 (JA55)

OP MULTI METER GPC #M1231 for MONKEY125 (JB03・JB05)・DAX125 (JB04・JB06)・CT125 (JA65)

OP MULTI METER GPC #M1230 for MONKEY125 (JB02)・CT125 (JA55)

各車種 GPC キット対応 (別売)
Compatible with GPC kits

本書は、2 品番共通の取扱説明書です。

This manual is shared for two product part numbers.

- オートバイ整備に関する基本的な技能および知識をお持ちでない方は、作業を行わないでください。
- 取り付けの際は、車種ごとのメーカーサービスマニュアルと併せて作業を行ってください。
- 不適切な取り付けや改造、仕様変更は行わないでください。
- 異常を発見した場合は、直ちに走行を停止し、点検を行ってください。
- 仕様は予告なく変更される場合があります。

- 本製品の保証期間は 6 か月です。お買い上げ日が確認できる領収書または納品書を大切に保管してください。
- 不適切な使用方法や事故による製品の故障 (過電圧や圧迫による破損、コードの引っ張りやねじれによる断線など) は保証対象外となり、有償での修理対応となります。
- 保証期間内に製造上の原因による不具合が生じた場合は、弊社またはお買い上げの販売店までご連絡ください。内容を確認のうえ、製品を修理または交換いたします。ただし、本製品の修理・交換以外のいかなる損害 (物的損害、人的損害を含む) についても、弊社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

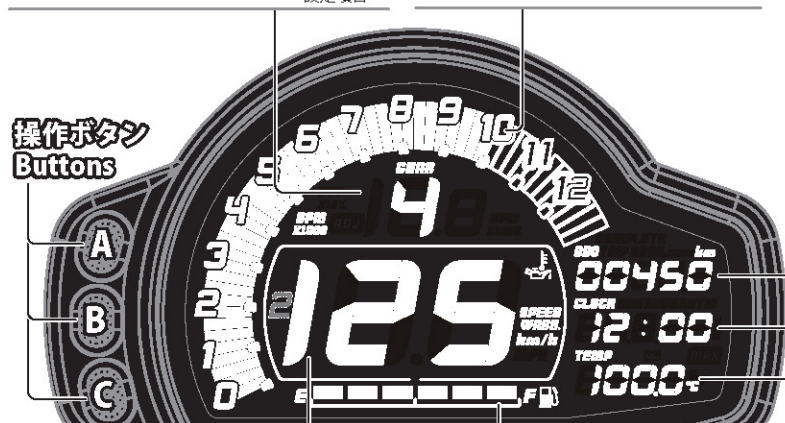


機能と表示の一覧 List of Functions and Displays

① スピードメーター	～299km/h※(～186MPH) ※199km/hを超えると、百の位は小さい「2」表示に切り替わります。	① Speedometer:～299km/h (～186MPH) ※When exceeds 199 km/h, x100 digit changes to smaller "2".
② 速度警告灯	設定した速度に達すると点灯する警告灯 ■範囲: 30～299km/h (19～186MPH)	② Speed Warning: Warning indicator that illuminates at set speed ■30～299 km/h (19～186 MPH)
③ オドメーター	～99999km (～99999mile) ■走行距離計 ■任意の距離から始められるユーザーオド機能付き	③ Odo Meter:～99999km (～99999mile) ■User setting possible
④ トリップメーター A/B	～9999.9km (～9999.9mile) ■リセット可能な走行距離計 ■A 長押しでリセット	④ Trip Meter A/B:～9999.9km (～9999.9mile) ■Holding down A button to erase
⑤ オイル交換距離計	設定値から減っていく走行距離計 ■範囲: 500～6000km (300～3900mile) ■0km 以下になるとマイナス表示になり、同時にオイル差しマークを表示 ■A 長押しでリセット	⑤ Oil Change Mileage: ■User setting possible ■When mileage drops below 0km, negative value and oil icon is displayed ■Holding down A button to erase
⑥ 時計	12 時間表示 ■B 長押しで調整	⑥ Clock: 12H ■Adjust by holding down B button.
⑦ ランニングタイム	～99 時間 59 分 (1 分単位)、100～99999 時間 (1 時間) ■走行時間計 ■B 長押しでリセット	⑦ Running time:～99H59M (1M), 100～99999H (1H) ■Holding down B button to erase
⑧ アワーメーター	～99 時間 59 分 (1 分単位)、100～99999 時間 (1 時間) ■エンジン稼働時間計 ■B 長押しでリセット	⑧ Hour Meter:～99H59M (1M), 100～99999H (1H) ■Holding down B button to erase
⑨ エンジン温度計	-10～180° C (14～356° F)	⑨ Temp Gauge: -10～180° C (14～356° F)
⑩ 高温警告灯	設定した温度で点灯する警告灯 ■範囲: 50～180° C (122～356° F)	⑩ High Temp Warning: User setting possible
⑪ 電圧計	DC8V～18V	⑪ Voltmeter: DC8～18V
⑫ 最高記録	速度、タコメーター、温度の最高記録を表示 ■C 長押しでリセット	⑫ Max. Records: Speed, Tacho, Temp ■Holding down C button to erase
⑬ タコメーター	～10000rpm または～13000rpm ■レンジ切り替え可能	⑬ Tachometer:～10000rpm or～13000rpm ■Display range can be switched
⑭ シフトインジケーター	設定した回転数でグリーン→レッド→グリーン&レッド (両点滅) の 3 段階で点灯する警告灯	⑭ Shift Indicator: User setting possible ■Green→Red→Green&Red
⑮ ギアポジション	車速信号とエンジン回転数の比率から現在のギアを算出 ■オプションの GPC デバイスに対応 (機械式ギアポジションスイッチ)	⑮ Gear Position: Calculated from ratio of speed and RPM ■Supports optional GPC devices (Mechanical gear position switch)
⑯ 燃料計	6 粒の目盛り+1 粒の点滅の合計 7 段階 ■抵抗値の変更可能	⑯ Fuel Gauge: Total 7 levels, 6 grain+1 grain flashing ■Resistance value changeable
⑰ イモビライザーインジケーター	タイモトル等の海外モデルに標準装備のイモビライザー機能用 ※日本モデル非対応。	⑰ Immobilizer Alarm Indicator: HONDA Genuine support *Foreign models only
○ 本体サイズ	W128mm×H98mm×D52mm	○ Size: W128mm×H98mm×D52mm
○ 安定作動電圧	DC10～16V	○ Operating voltage: DC10～16V
○ 耐水性能	JIS D0203 S2	○ Waterproof cord: JIS D0203 S2

GEAR ⑮ ギアポジション 5.1～5.9 設定項目
⑮ Gear Position 設定項目

RPM ⑬ タコメーター 2.4～2.6 設定項目
⑬ Tachometer 設定項目



操作ボタン
Buttons

SPEED ① スピードメーター 1.3～1.9 設定項目
① SPEEDOMETER 設定項目

SPEED WRB. ② 速度警告灯 1.1 速度変更
② Speed Warning 速度変更

⑩ 高温警告灯 3.1 温度変更
⑩ High Temp Warning 温度変更

⑰ イモビライザーインジケーター
⑰ Immobilizer Alarm Indicator

点灯と同時にスピードの右側にマークが現れます。
Marks appears on right side of speed at the same time as lights up.

4.1 輝度変更 Brightness
4.2 起動画面 START UP
3.3 温度単位 °C or °F
4.5 距離単位 km/h or MPH

⑯ 燃料計 6.1 抵抗値
⑯ Fuel Gauge 抵抗値

SHIFT ⑭ シフトインジケーター 2.1～2.3 回転数変更
⑭ Shift Indicator 回転数変更

A ボタンで切り替え

ODO ③ オドメーター 4.4 初期値入力
③ Odo Meter 初期値入力

TRIP A ④ トリップメーター A 3 秒間 3sec リセット Erase
④ Trip Meter B 3 秒間 3sec リセット Erase

TRIP B ④ トリップメーター B 3 秒間 3sec リセット Erase
④ Trip Meter B 3 秒間 3sec リセット Erase

OIL ⑤ オイル交換距離計 1.2 距離変更
⑤ Oil Change Mileage 距離変更

距離がマイナス=オイル交換タイミングになるとオイル差しマークが現れます。
When the timing of oil change is reached, Oil icon appears.

B ボタンで切り替え

CLOCK ⑥ 時計 3 秒間 3sec 時刻を合わせる Adjust 【詳細は P2】
⑥ Clock 時刻を合わせる Adjust 【詳細は P2】

RUN ⑦ ランニングタイム 3 秒間 3sec リセット Erase
⑦ Running Time 3 秒間 3sec リセット Erase

HOURL ⑧ アワーメーター 3 秒間 3sec リセット Erase
⑧ Hour Meter 3 秒間 3sec リセット Erase

C ボタンで切り替え

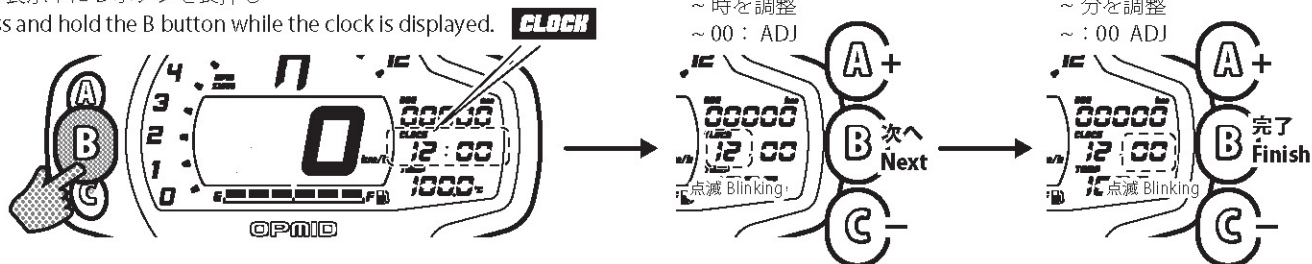
TEMP ⑨ エンジン温度計 3.2 設定項目
⑨ Temp Gauge 設定項目

⑪ バッテリー電圧計 4.6 電圧補正
⑪ Voltmeter 電圧補正

MAX ⑫ 最高記録 3 秒間 3sec リセット Erase
⑫ Max. Records 3 秒間 3sec リセット Erase

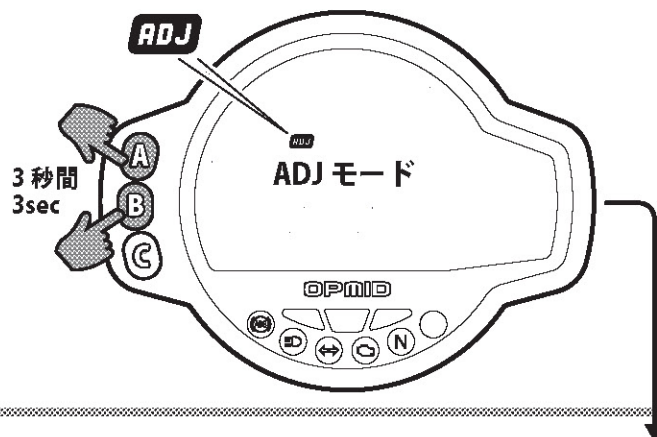
時刻の合わせ方 How to set Clock

- 時計表示中に B ボタンを長押し
- Press and hold the B button while the clock is displayed.



設定変更の手順 How to change settings

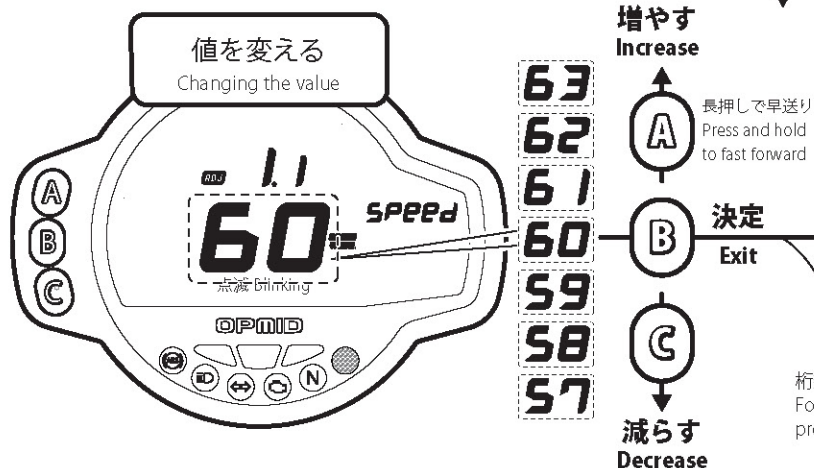
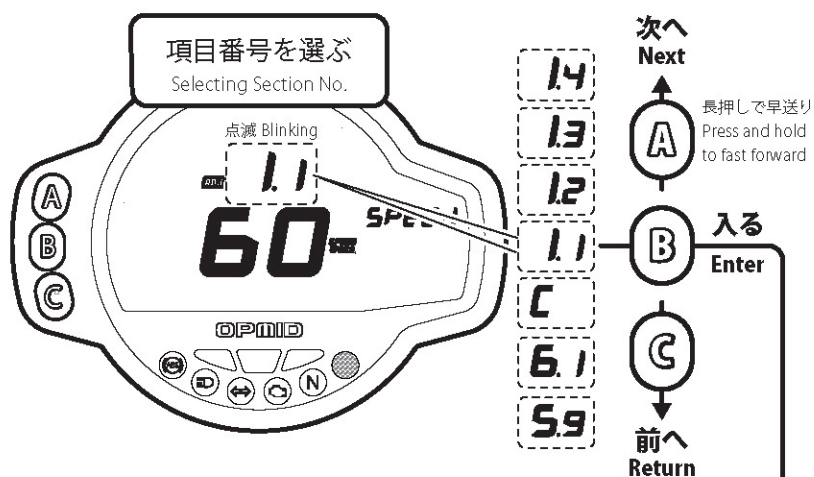
- A ボタンと B ボタンを同時に押し続け、3 秒後に "ADJ" マークが表示されたら指を離してください。
- Press and hold the A and B buttons simultaneously, then release them when the "ADJ" mark appears after 3 seconds.



初期値はモンキー 125 用に設定されています。
各車両に合わせた設定値を入力してください。
設定値は次ページをご参照ください。

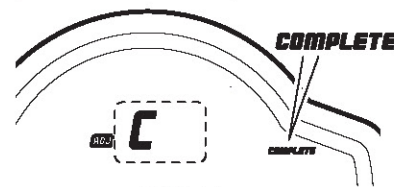
The default settings are configured for the Monkey 125.
Please enter the appropriate setting values for your vehicle.
Refer to the next page for the setting values.

- ADJ モードに入ったら、A または C ボタンで項目番号を選び、B ボタンでその項目に入ります。
- A と C ボタンで値を変えます。
- 変え終わったら B ボタンで決定します。(項目番号を選ぶ画面に戻る)
- Use A or C button to select Section No. and B button to Enter.
- Increase with A or decrease with C and confirm with B button, Return to Section No. selection.



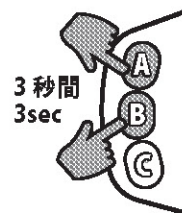
完了する時 When Completed

- 項目番号の一番最後にある "C" を選び、B ボタンを押すと完了します。
- Select "C" at the end of Section No. and press B button to complete.



または or

- どの項目でも A ボタンと B ボタンを同時に長押しすると完了します。
- Press A and B buttons simultaneously



桁数の多い項目では次の桁に進みます。
For Section with a large number of digits,
proceed to the next digit.

各車両に合わせた設定値を入力してください。

番号	表示	名称	範囲	単位	M1231			M1230		
					モンキー JB03/05	ダックス JB04/06	CT125 JA65	モンキー JB02	CT125 JA55	
1.1	SPEED WARN.	速度警告灯	30 ~ 299km/h (19 ~ 186MPH)	1	60★ (38)	60★ (38)	60★ (38)	60★ (38)	60★ (38)	速度警告中は赤 LED が点滅し、画面内に "SPEED WARN" マークを点滅表示します。
1.2	OIL	オイル交換距離	500 ~ 6000km (300 ~ 3900mile)	500 (300)	1000★ (600)	1000★ (600)	1000★ (600)	1000★ (600)	1000★ (600)	設定距離から減算していき、0km (=オイル交換タイミング) を過ぎるとマイナス表示となり、画面に "オイル差し" マークを表示します。距離のリセットはここでは出来ません。通常画面での長押しでリセット。【詳細は P1】
1.3	SPEED	速度誤差加算	80.0 ~ 120.0%	0.1	107.2	107.2	107.2	107.2	107.2	入力値に応じて表示速度を補正します。107.2%に設定すると、純正メーターと同程度 (約 7.2% 高め) の表示になります。 ※ここでの加算は走行距離計には影響しません。 【詳細は P6】
1.4	FRONT	フロントスプロケット	10 ~ 20T	1	14	15	14	15	14	フロント：リアのスプロケット歯数から、2 次減速比を算出します。※車体のスプロケットの歯数を変更すると ABS エラーが出ます。スプロケットを変更したい場合は別途、車速信号補正装置が必要。【詳細は P7】
1.5	REAR	リアスプロケット	30 ~ 50T	1	37	34	38	34	39	
1.6	PULSE	速度信号数	1 ~ 40 ポイント	1	27	24	24	31	31	純正車速センサーは、セカンドカウンタギアの歯数を読み取っています。歯数は車種によって異なります。
1.7	REAR DIA	リアタイヤ直径	350 ~ 800mm	1	498 (513)	477 (487)	554 (576)	498 (513)	554 (576)	リアタイヤ直径の増減に連動して、速度表示と走行距離計の両方が増減します。表の標準値は純正メーターから割り出した値です。(…) は、タイヤ表記値から算出した参考用の直径です。【詳細は P6】
1.8	SENS (Sensor)	車速センサー位置	Count shaft (Counter shaft) ・ Rear axle ・ Front axle	3 択	Count shaft	Count shaft	Count shaft	Count shaft	Count shaft	純正車速センサーは、Counter shaft (カウンタシャフト) 部にあります。Rear axle (リアアクスル) ・ Front axle (フロントアクスル) の設定は、オプションパーツ用です。
1.9	FRONT DIA	フロントタイヤ直径	350 ~ 800mm	1	350※	350※	350※	350※	350※	※前項の車速センサー位置を Front axle に変更した際に使用する項目です。初期値 (350mm) のままで大丈夫です。
2.1	TACHO	シフトインジケーター緑	3000 ~ 12750RPM	250	5500★	5500★	5500★	5500★	5500★	緑 LED のみを点灯させる回転数で、パワーバンド中を示す用途などに使用します。
2.2	TACHO	シフトインジケーター赤	3250 ~ 13000RPM	250	7000★	7000★	7000★	7000★	7000★	赤 LED のみを点灯させる回転数で、パワーの頂点付近を示す用途などに使用します。次項 [2.3] と同値にすることで、不使用設定が可能。
2.3	TACHO	シフトインジケーター緑&赤	3250 ~ 13000RPM	250	7000★	7000★	7000★	7000★	7000★	緑&赤 LED を点滅させる回転数です。シフトアップのタイミング表示に使用します。
2.4	GAUGE	表示レンジ切り替え	10000RPM, 13000RPM	2 択	10000	10000	10000	10000	10000	チューニングエンジン向けに、表示範囲を 13,000rpm まで拡大できます。
2.5	TYPE	点火信号種類	POSI (+), NEGA (-)	2 択	POSI	POSI	POSI	POSI	POSI	POSI はプラス信号、NEGA はマイナス信号です。マイナス信号は点火システム改造用のため、通常は使用しません。
2.6	PULSE	点火信号数	0.5, 1, 1.5, 2, 2.5, 3~6, 9~12, 17, 18, 23, 24, 34, 36	19 択	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	クランクシャフト 1 回転あたりの信号数です。 0.5 (=2 回転 1 発火) 以外の設定値は、点火システムの改造に伴い、フライホイールのピックアップ信号を読み込む場合などに使用します。
3.1	TEMP	高温警告灯	50 ~ 180°C (122 ~ 356°F)	5 (3)	145★ (293°F)	145★ (293°F)	145★ (293°F)	145★ (293°F)	★145 (293°F)	警告中は赤 LED が点滅し、画面内に "油温計" マークを点滅表示します。任意の値に設定してください。 目安：モンキー：130 ~ 145°C ダックス/CT125：140 ~ 150°C 程度 【詳細は P8】
3.2	P (program)	温度計プログラム	P-P0, P-P1, P-P3, P-7, P-E1, P-E5, P-E1A, P-250	8 択	P-P3	P-P3	P-P3	P-P1	P-P1	車種によって設定値が異なります。aRacer 社製 ECU：P-7、オプション温度センサー：P-250、その他の設定値は他車種用です。【詳細は P8】
3.3	UNIT	温度単位	°C, °F	2 択	°C	°C	°C	°C	°C	日本では °C (摂氏温度) を使用します。 °F (華氏温度) は、主に米国で使用される単位です。
4.1	ILL	バックライト輝度	1 ~ 5 レベル	1	5★	5★	5★	5★	5★	最高輝度は「5」
4.2	START UP	起動画面	A, B, C	3 択	A★	A★	A★	A★	A★	A：全表示が往復 B：顔 → GO C：連試し用ランダム (出現率 A：90%、B：10%)
4.3	ABS	ABS 有無	ON, OFF	2 択	ON	ON	ON	ON※	ON	OFF にすると、ABS 警告灯を点灯させなくします。 ※モンキー 125・JB02 の ABS 非装備車・海外の ABS 非装備モデルは「OFF」に設定してください。フロント車速センサーを外して ABS 機能をキャンセルした場合も、警告灯を強制的に消灯できます。
4.4	ODO	ユーザーオド	0 ~ 999999km (~ 99999mile)	1	0★	0★	0★	0★	0★	通常画面に表示するオドメーターの初期値 (引継ぎ用) を入力してください。下段にはメーターオド (変更不可) を表示します。
4.5	UNIT	距離単位	km, mile	2 択	km	km	km	km	km	日本では km (メートル法) を使用します。 mile (マイル法) は、主に米国で使用される単位です。
4.6	V-ADD	電圧計補正	-1.0 ~ 1.0V	0.1	0	0	0	0	0.8	電圧計補正用の項目です。JA55 のみ補正が必要で、通常は使用しません。

次ページに続く

前ページの続き

				M1231			M1230				
番号	表示	名称	範囲	単位	モンキー JB03/05	ダックス JB04/06	CT125 JA65	モンキー JB02	CT125 JA55		
5.1	PRI	1 次減速比	2.000 ～ 5.000	0.001	3.040	3.421	3.421	3.350	3.350	プライマリードライブギア：プライマリードリブンギアの減速比です。車速変換装置を取り付けた場合は、正しいギアポジションを算出するため、変換装置の補正值に合わせて本項目の値も変更する必要があります。【GPC 組合せ時は入力不要】	
5.2	1 ST	変速比 1 速	0.505 ～ 5.000	0.001	2.846	2.500	2.500	2.500	2.500	メインシャフトギア：カウンターシャフトギアの変速比です。メーカー発行の仕様書に記載されている変速比を入力してください。 前項の変速比より大きい値は入力できません。 使用しないギア段数の項目は「NON」を選択してください（2速以降選択可能）。 整数部「1」の値を 0 未満にすると、「NON」が表示されます。算出式ギアポジション機能では、本項目の値を使用します。 【GPC 組合せ時は入力不要】	
5.3	2 ND	2 速	0.504 ～ 4.999, NON	0.001	1.777	1.550	1.550	1.550	1.550		
5.4	3 RD	3 速	0.503 ～ 4.998, NON	0.001	1.315	1.150	1.150	1.150	1.150		
5.5	4 TH	4 速	0.502 ～ 4.997, NON	0.001	1.034	0.923	0.923	0.923	0.923		
5.6	5 TH	5 速	0.501 ～ 4.996, NON	0.001	0.843	NON	NON	NON	NON		
5.7	6 TH	6 速	0.500 ～ 4.995, NON	0.001	NON	NON	NON	NON	NON		
5.8	DISP RATIO	変速比表示	ON, OFF	2 択	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON にすると、B 列の最後にリアルタイムで算出した変速比 (5.000 ～ 0.500) を表示します。【GPC 接続時は使用できません】	
5.9	GEAR	カットオフ RPM	0 ～ 4000RPM CUT	250+3 択	0	0	0	0	0	「0 ～ 4000rpm」の範囲に設定すると、走行中の車速と回転数から割り出す算出式ギアポジションモードになります。「0rpm」より高い値に設定すると、その回転数以下ではギアポジションを表示しなくなります。遠心クラッチ車で低回転時の誤表示が気になる場合は、数値を上げて調整してください。 「Input GPC, tacho-disp, OFF-disp」は「4000rpm」と「0rpm」の間に現れます。 「4000rpm」⇔「Input GPC」⇔「tacho-disp」⇔「OFF-disp」⇔「0rpm」	
		GPC 入力	Input GPC	「Input GPC」は、オプションの GPC キットからの信号を読み込んで表示するモードです。							
		タコメーター表示	tacho-disp	「tacho-disp」は、ギアポジション機能を使用せず、ギア表示枠に数値式タコメーターを表示するモードです。							
		表示オフ	OFF-disp	「OFF-disp」は、ギアポジション機能を使用せず、ギア表示枠を空白にするモードです。							
6.1	FUEL-Full	燃料計 満量の抵抗値	0 ～ 2999Ω	1	11	11	11	11	11	フューエルレベルセンサーのフロートが上がった際（満量時）の抵抗値。下段に現在の抵抗値を表示します。【詳細は P10】	
6.2	FUEL-Empty	燃料計 空量の抵抗値	0 ～ 2999Ω	1	384	384	384	384	384	フューエルレベルセンサーのフロートが下がった際（空量時）の抵抗値。下段に現在の抵抗値を表示します。【詳細は P10】	
C	COMPLETE	完了する								B ボタンで設定を保存・終了します。なお、AJD モードのどの画面でも AB ボタンを同時長押しすることでも保存・終了できます。	



Please enter the appropriate settings for your vehicle.

Section	Display	Name	Range	Unit	M1231			M1230		Values marked with ★ are provided as reference values. Please adjust them to any desired setting as needed.
					Monkey JB03/05	DAX JB04/06	CT125 JA65	Monkey JB02	CT125 JA55	
1.1	SPEED WARN.	Speed Warning Light	30 ~ 299km/h (19 ~ 186MPH)	1	60★ (38)	60★ (38)	60★ (38)	60★ (38)	60★ (38)	The red LED flashes during a speed warning, and the "SPEED WARN" mark flashes on the display.
1.2	OIL	Oil Change Distance	500 ~ 6000km (300 ~ 3900mile)	500 (300)	1000★ (600)	1000★ (600)	1000★ (600)	1000★ (600)	1000★ (600)	The remaining distance counts down from the set value. Once 0 km (= oil change timing) is exceeded, the value becomes negative and the "oil can" mark appears on the display. The distance cannot be reset here. Reset by pressing and holding the button on the normal display screen. [See P1]
1.3	SPEED	Speed Correction Offset	80.0 ~ 120.0%	0.1	107.2	107.2	107.2	107.2	107.2	Corrects the displayed speed according to the input value. When set to 107.2%, the display will match the stock meter indication (approximately 7.2% higher than actual speed). * This correction does not affect the odometer. [See P6]
1.4	FRONT	Front Sprocket	10 ~ 20T	1	14	15	14	15	14	Calculates the secondary reduction ratio from front and rear sprocket counts.* Changing the sprocket tooth count on the vehicle may trigger an ABS error. If the sprockets are changed, a separate speed signal correction device is required. [See P7]
1.5	REAR	Rear Sprocket	30 ~ 50T	1	37	34	38	34	39	
1.6	PULSE	Speed Signal Count	1 ~ 40 ポイント	1	27	24	24	31	31	The stock speed sensor reads the tooth count of the secondary counter gear. The number of teeth varies depending on the vehicle model.
1.7	REAR DIA	Rear Tire Diameter	350 ~ 800mm	1	498 (513)	477 (487)	554 (576)	498 (513)	554 (576)	Changes in rear tire diameter affect both the speed display and odometer readings. The standard values in the table are derived from the stock meter. Values marked with (---) are reference diameters calculated from the tire size markings. [See P6]
1.8	SENS (Sensor)	Speed Sensor Position • Rear axle • Front axle	Count shaft (Counter shaft)	Three	Count shaft	Count shaft	Count shaft	Count shaft	Count shaft	The stock speed sensor is located at the Counter Shaft. "Rear axle" and "Front axle" settings are for optional parts.
1.9	FRONT DIA	Front Tire Diameter	350 ~ 800mm	1	350※	350※	350※	350※	350※	* This item is used when changing the speed sensor position setting to "Front axle." No input is required when using stock speed sensor.
2.1	TACHO	Shift Indicator Green	3000 ~ 12750RPM	250	5500★	5500★	5500★	5500★	5500★	Sets the RPM at which only the green LED lights up. Commonly used to indicate the power band range.
2.2	TACHO	Shift Indicator Red	3250 ~ 13000RPM	250	7000★	7000★	7000★	7000★	7000★	Sets RPM at which only red LED lights up. Commonly used to indicate engine's peak power range. This function can be disabled by setting the same value as next item [23]
2.3	TACHO	Shift Indicator Green & Red	3250 ~ 13000RPM	250	7000★	7000★	7000★	7000★	7000★	Sets the RPM at which both green and red LEDs flash. Used as a shift-up indicator.
2.4	GAUGE	Range Switching	10000RPM, 13000RPM	Two	10000	10000	10000	10000	10000	Expands the display range up to 13,000 rpm for tuned engines.
2.5	TYPE	Ignition Signal Type	POSI (+), NEGA (-)	Two	POSI	POSI	POSI	POSI	POSI	POSI is a positive signal, and NEGA is a negative signal. Negative signal mode is intended for modified ignition systems and is normally not used.
2.6	PULSE	Ignition Signal Count	0.5, 1, 1.5, 2, 2.5, 3~6, 9~12, 17, 18, 23, 24, 34, 36	Nineteen	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	Sets the number of signals per crankshaft revolution. Values other than 0.5 (= 1 ignition every 2 revolutions) are used when reading flywheel pickup signals for modified ignition systems.
3.1	TEMP	High Temp Warning Light	50 ~ 180°C (122 ~ 356°F)	5 (3)	145★ (293°F)	145★ (293°F)	145★ (293°F)	145★ (293°F)	145★ (293°F)	The red LED flashes during a temp warning, and the "Oil Temp" mark flashes on the display. Set to any desired value. Recommended values: Monkey: 130~145°C DAX / CT125: approx. 140~150°C [See P8]
3.2	P (program)	Temp Gauge Program	P-P0, P-P1, P-P3, P-7, P-E1, P-E5, P-E1A, P-250	Eight	P-P3	P-P3	P-P3	P-P1	P-P1	Required settings vary depending on the vehicle model. aRacer ECU: P-7 Optional temp sensor: P-250 Other values are for different vehicle models. [See P8]
3.3	UNIT	Temp Unit	°C, °F	Two	°C	°C	°C	°C	°C	In Japan, °C (Celsius) is used. °F (Fahrenheit) is mainly used in the United States.
4.1	ILL	Backlight Brightness	1 ~ 5 レベル	1	5★	5★	5★	5★	5★	The maximum brightness setting is "5".
4.2	START UP	Startup Screen	A, B, C	Three	A★	A★	A★	A★	A★	A: Full display animation B: Face → GO C: Random startup pattern (Appearance rate: A = 90%, B = 10%)
4.3	ABS	ABS Setting	ON, OFF	Two	ON	ON	ON	ON※	ON	When set to OFF, the ABS warning light will not illuminate. * Set to "OFF" for Monkey 125 JB02 non-ABS models and overseas non-ABS models. This can also forcibly disable the warning light when the ABS function has been canceled by removing the front speed sensor.
4.4	ODO	User Odometer	0 ~ 999999km (~ 99999mile)	1	0★	0★	0★	0★	0★	Enter the initial odometer value (for transfer purposes) shown on normal display screen. The meter odometer value (cannot be changed) is displayed in lower section.
4.5	UNIT	Distance Unit	km, mile	Two	km	km	km	km	km	In Japan, km (metric units) are used. mile (imperial units) is mainly used in the United States.
4.6	V-ADD	Voltage Meter Correction	-1.0 ~ 1.0V	0.1	0	0	0	0	0.8	Used for voltmeter correction. Correction is required only for JA55 models and is normally not used.

Continued on next page

Continued from previous page

Section	Display	Name	Range	Unit	M1231			M1230			
					Monkey JB03/05	DAX JB04/06	CT125 JA65	Monkey JB02	CT125 JA55		
5.1	PRI	Primary Reduction Ratio	2.000 ~ 5.000	0.001	3.040	3.421	3.421	3.350	3.350	Sets the reduction ratio between the primary drive gear and primary driven gear. When using a speed conversion device, this value must also be adjusted to match the correction value of the conversion device in order to calculate the correct gear position. [No input required when used with GPC]	
5.2	1 ST	1st Gear Ratio	0.505 ~ 5.000	0.001	2.846	2.500	2.500	2.500	2.500	Sets the gear ratio between the main shaft gear and counter shaft gear.	
5.3	2 ND	2nd Gear	0.504 ~ 4.999, NON	0.001	1.777	1.550	1.550	1.550	1.550	Enter the gear ratios listed in the manufacturer's specifications.	
5.4	3 RD	3rd Gear	0.503 ~ 4.998, NON	0.001	1.315	1.150	1.150	1.150	1.150	Values larger than the previous gear ratio cannot be entered. Select "NON" for unused gear positions (available from 2nd gear onward).	
5.5	4 TH	4th Gear	0.502 ~ 4.997, NON	0.001	1.034	0.923	0.923	0.923	0.923	When the integer part "1" is decreased below 0, "NON" will appear.	
5.6	5 TH	5th Gear	0.501 ~ 4.996, NON	0.001	0.843	NON	NON	NON	NON	These values are used for the calculated gear position function. 【No input required when used with GPC】	
5.7	6 TH	6th Gear	0.500 ~ 4.995, NON	0.001	NON	NON	NON	NON	NON		
5.8	DISP RATIO	Gear Ratio Display	ON, OFF	Two	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	When set to ON, the calculated gear ratio (5.000~0.500) is displayed in real time at the end of column B. 【Cannot be used when connected with GPC】	
5.9	GEAR	Cut-off RPM	0 ~ 4000RPM CUT	250+Three	0	0	0	0	0	When set within the range of "0~4000 rpm," calculated gear position mode is enabled. Gear position is calculated from vehicle speed and engine RPM while riding. If a value higher than "0 rpm" is set, the gear position will not be displayed below that RPM. If incorrect gear display occurs at low RPM on centrifugal clutch models, increase the value for adjustment. "Input GPC," "tacho-disp," and "OFF-disp" appear between "4000 rpm" and "0 rpm." "4000 rpm" ⇔ "Input GPC" ⇔ "tacho-disp" ⇔ "OFF-disp" ⇔ "0 rpm"	
		GPC Input	Input GPC	"Input GPC" mode reads and displays signals from the optional GPC kit.							
		Tachometer Display	tacho-disp	"tacho-disp" mode disables the gear position function and displays a numeric tachometer in the gear display area.							
		Display OFF	OFF-disp	"OFF-disp" mode disables the gear position function and leaves the gear display area blank.							
6.1	FUEL-Full	Fuel Full Resistance Value	0 ~ 2999Ω	1	11	11	11	11	11	Resistance value when the fuel level sensor float is raised (full tank). The current resistance value is displayed in the lower section. 【See P10】	
6.2	FUEL-Empty	Fuel Empty Resistance Value	0 ~ 2999Ω	1	384	384	384	384	384	Resistance value when the fuel level sensor float is lowered (empty tank). The current resistance value is displayed in the lower section. 【See P10】	
C	COMPLETE	Finish								Press the B button to save settings and exit. In AJD mode, settings can also be saved and exited by pressing and holding the A and B buttons simultaneously on any screen.	

スピードメーターの誤差について About speedometer errors

タイヤの摩耗や空気圧、ライダーの体重および積載荷重、さらに高速走行時には遠心力によるタイヤの膨張などにより、スピードメーターの誤差は変化します。

純正メーターはこれらの誤差を考慮し、実際の速度より常に高めに表示されるよう、概ね+7.2%程度に設定されています。

ただし、走行距離計については+7.2%には設定されておらず、例えばメーター表示 60km/h の一定速度で 1 時間走行した場合でも、走行距離の加算は 60km 未満となります。道路運送車両の保安基準では、「35km/h 以上における速度計の誤差範囲は+15%、-10%以内」と定められています。そのため、スピード表示のみを高めに設定している理由は、速度超過の抑止を目的としているためと考えられます。

Speedometer error varies depending on tire wear, tire pressure, rider weight, luggage load, and tire expansion caused by centrifugal force at high speeds.

Stock speedometers are designed with these factors in mind and are generally set to display approximately +7.2% higher than the actual vehicle speed.

However, the odometer is not set with the same +7.2% correction. For example, even if the speedometer indicates 60 km/h for one hour of riding, the accumulated travel distance will be less than 60 km.

1.3 ~ 1.7 設定操作方法は P2 と P3 に記載。

The setting method is described on P2 and P5.

本製品では、「1.3:速度誤差加算」「1.4:フロントスプロケット歯数」「1.5:リアスプロケット歯数」「1.6:速度信号数」「1.7:リアタイヤ直径」の 5 項目から速度を算出します。このうち「1.3:速度誤差加算」は速度表示のみに影響し、走行距離には影響しない項目です。そのため、純正メーターと同様に「速度表示のみ高め」の設定が可能です。「速度誤差加算」を 100.0% に設定した場合、メーター表示 60km/h で 1 時間走行すると、走行距離の加算は 60km になります。一方、「速度誤差加算」を 107.2% に設定した場合、メーター表示 60km/h で 1 時間走行しても、走行距離の加算は約 56km になります。

設定項目一覧に記載されている標準値は、純正メーター同様の表示（速度表示のみ高め）を再現するための設定値です。

誤差を抑えたい場合は、「速度誤差加算:100.0%」をお試しください。また、GPS メーター等を使用してお客様の車両に合わせて補正を行う場合は、まず「1.3:速度誤差加算」を 100.0% に設定し、その後「1.7:リアタイヤ直径」の値を上げ下げして調整してください。

This product calculates vehicle speed using the following five parameters: "1.3: Speed Correction Offset," "1.4: Front Sprocket," "1.5: Rear Sprocket," "1.6: Speed Signal Count," and "1.7: Rear Tire Diameter." Among these, "1.3: Speed Correction Offset" affects only the speed display and does not affect the accumulated travel distance. This allows the meter to be configured similarly to the stock meter, where only the displayed speed is intentionally higher than the actual speed. When "Speed Correction Offset" is set to 100.0%, riding for one hour at an indicated speed of 60 km/h will add 60 km to the odometer. However, when "Speed Correction Offset" is set to 107.2%, riding for one hour at an indicated speed of 60 km/h will add approximately 56 km to the odometer. The values listed in the Setting List are intended to reproduce stock meter behavior, where only the displayed speed is higher than the actual speed.

If you would like to minimize speedometer error, try setting "Speed Correction Offset" to 100.0%. When using a GPS speedometer or similar device to calibrate the display for your vehicle, first set "1.3: Speed Correction Offset" to 100.0%, then adjust the value of "1.7: Rear Tire Diameter."

ABS モジュレーターは、前輪および後輪の車速信号から回転差を検出し、前輪のロックを検知すると ABS を作動させます。

タイヤ空気圧、タイヤ摩耗、乗車重量、二人乗りなどの影響を考慮し、回転差には一定の許容範囲（およそ 6% 程度）が設けられています。

しかし、スプロケットやタイヤサイズを変更し、前後輪の回転差が常に許容範囲を超える状態になると、ABS エラー（警告ランプ点滅）が発生します。

このような ABS エラーを回避し、あわせて速度表示誤差を補正するためには、後輪側車速信号用の補正装置（弊社製品名：ドクタースピード）が必要です。

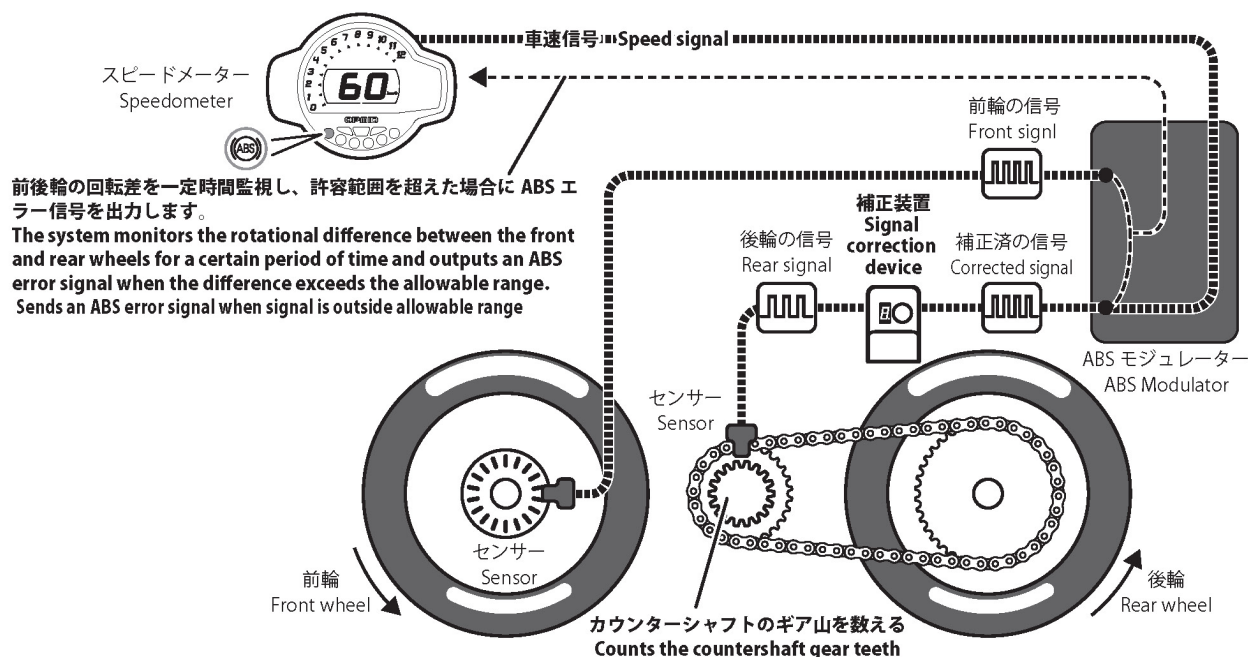
なお、OP マルチメーターに搭載されているスプロケット歯数設定機能は、メーター内部演算用です。ABS モジュレーターのエラー回避には使用できません。これは、後輪の車速信号がメーターへ入力される前に、ABS モジュレーターへ入力されているためです。

The ABS modulator detects the rotational difference between the front and rear wheels using their respective vehicle speed signals, and activates the ABS when front wheel lock is detected. To account for factors such as tire pressure, tire wear, rider weight, and carrying a passenger, a certain allowable rotational difference (approximately 6%) is built into the system.

However, when changing sprocket sizes or tire sizes causes the rotational difference between the front and rear wheels to constantly exceed the allowable range, an ABS error (warning lamp flashing) may occur. To prevent such ABS errors while also correcting speed display inaccuracies, a rear-wheel speed signal correction device (our product: Dr. Speed) is required.

Please note that the sprocket tooth count setting function built into the OP Multi Meter is intended only for the meter's internal calculations.

It cannot prevent ABS modulator errors. This is because the rear wheel speed signal is sent to the ABS modulator before it is input to the meter.



車速信号の補正装置を取り付け時のメーター設定について Meter Settings When Using Speed Signal Correction Device



補正装置を取り付けた場合のメーター側の設定については、弊社ホームページにて詳しい説明と各車種用の計算機をご用意しております。For meter settings when using a correction device, detailed explanations and model-specific calculators are available on our website.

速度信号の補正装置を取り付けた場合、算出式ギアポジション機能を正しく動作させるため、補正装置で補正した分を【5.1：1次減速比】の設定値で補正し直す必要があります。なお、メーター側のスピード関連設定は標準値のままにしてください。

- 【1.3：速度誤差加算】：標準値のまま
- 【1.4：フロントスプロケット】：標準値のまま
- 【1.5：リアスプロケット】：標準値のまま
- 【1.7：リアタイヤ直径】：標準値のまま
- 【5.1：1次減速比】：計算および変更が必要

例) モンキー 125・JB03 で、フロントスプロケットを純正 14T から 15T へ変更した場合

●補正装置側の設定値：107.1%（計算式：15 ÷ 14 × 100 = 107.1）

●【5.1：1次減速比】：2.838

標準値 [3.040] を 107.1% で割って算出します。（計算式：3.040 ÷ 107.1 × 100 = 2.838）

When a speed signal correction device is installed, the corrected value applied by the device must also be compensated through the [5.1: Primary Reduction Ratio] setting in order for the calculated gear position function to operate correctly.

Leave all speed-related meter settings at their default values.

- [1.3: Speed Error Compensation]: Leave at default setting
- [1.4: Front Sprocket]: Leave at default setting
- [1.5: Rear Sprocket]: Leave at default setting
- [1.7: Rear Tire Diameter]: Leave at default setting
- [5.1: Primary Reduction Ratio]: Calculation and adjustment required

Example) For a Monkey 125 (JB03), when changing the front sprocket from the stock 14T to 15T:

● Correction device setting value: 107.1% (Calculation: 15 ÷ 14 × 100 = 107.1)

● [5.1: Primary Reduction Ratio]: 2.838

Divide the default value [3.040] by 107.1% to obtain the corrected value.

(Calculation: 3.040 ÷ 107.1 × 100 = 2.838)

温度計プログラムの種類について About the types of thermometer programs

純正温度センサーは、シリンダーヘッド内部を潤滑し高温になったオイルがクランクケースに戻る通路に突き出すかたちで設置されています。最も熱いところで測定しますので、全体の平均温度に近いクランクケース内のオイルよりも高い値を差します。

本製品はカプラーオンで読み込むことができる純正温度センサー用と、ドレンボルト温度計等にできる後付け温度センサー（オプションパーツ）用の回路を備えています。
※純正温度センサーの測定値は、構造上 150℃を超えたあたりからバラツキ多くなります。ご了承ください。

The stock temp sensor is installed so that it protrudes into the oil passage returning from cylinder head to crankcase after lubricating the engine and being heated to a high temp. Because it measures temp at one of the hottest points in the engine, the indicated value will be higher than the oil temp inside the crankcase, which is closer to the overall average oil temp. This product is equipped with circuits for both the stock temp sensor, which can be connected using the factory coupler, and an optional temp sensor that can be installed in locations such as a drain bolt temp gauge. Due to the sensor structure, readings from the stock temp sensor may become unstable above approximately 150° C. Please understand this characteristic in advance.

3.2 設定操作方法は P2・P3 に記載。

The setting method is described on P2 and P5.

純正温度センサー利用 Uses stock temp sensor

M1231

P-P3

モンキー・JB03/05
ダックス・JB04/06
CT125・JA65

「P-P3」および「P-P0」は、各適合車種の純正温度センサーで測定した温度を表示するモードで、診断機（OBD2 ツール）で読み出される値と同一です。
参考値（気温 20℃付近／ノーマルエンジン／平坦な舗装路）

●モンキー 125 走行中：110～115℃・停車中：120～125℃ ●ダックス 125・CT125 走行中：125～130℃・停車中：135～140℃

※「停車中」は、数分間の信号待ち時の参考値です。停車時間が長くなるほど温度は上昇します。また、峠道や急な上り坂など、高負荷かつ低速時にも温度は上昇します。ダックス 125 および CT125 は、モンキー 125 と比較してオイル容量が少ないことや、遠心クラッチによる摩擦熱などの影響により、平均で約 15℃高い結果となっています。さらに温度変化の幅も大きいので、高温警告灯の設定値は高めに設定することを推奨します。

“P-P3” and “P-P0” display the temp measured by the stock temp sensor for each compatible vehicle model, and the displayed values are the same as those read by a diagnostic tool (OBD2 scanner).

Reference Values (Ambient temp around 20° C / Stock engine / Flat paved road)

● Monkey 125 While riding: 110–115° C While stopped: 120–125° C ● Dax 125 / CT125 While riding: 125–130° C While stopped: 135–140° C

* “While stopped” refers to values measured during several minutes of waiting at a traffic signal. Temps will continue to rise the longer the vehicle remains stopped.* Temp may also increase during high-load, low-speed riding conditions such as mountain roads or steep uphill climbs.*

Compared to the Monkey 125, the Dax 125 and CT125 tend to show temp approx. 15° C higher on average due to factors such as lower total oil capacity and friction heat generated by the centrifugal clutch. Because temp fluctuations are also greater on these models, it is recommended to set the high-temp warning threshold to a higher value.

「P-P0」と「P-P1」の違いについて

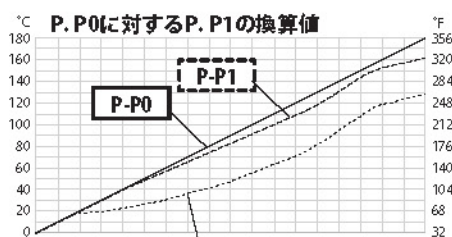
「P-P0」は、診断機（OBD2 ツール）で読み出される値と同一の表示モードで、「P-P1」は、モンキー 125・JB02 および CT125・JA55 向けに用意した弊社独自の補正データです。これらの車両では、真鍮製の純正温度センサーが採用され、シリンダーへ直接ねじ込まれているため、シリンダー温度の影響を受けやすい特性があります。

「P-P1」では、その影響を抑えた測定方法によるデータをもとに補正を行っており、150℃までの範囲において、「P-P0」と比較して最大約 10℃低い値を表示します。

なお、モンキー 125・JB03 以降およびダックス 125、CT125・JA65 は、新型エンジン化に伴い温度センサーが樹脂製へ変更され、取り付け位置もシリンダーヘッド側へ変更されています。そのため、これらの車両では補正データは不要と判断しています。

“P-P0” displays the same values as those read by a diagnostic tool (OBD2 scanner).

“P-P1” is our proprietary correction data prepared specifically for the Monkey 125 JB02 and CT125 JA55 models. On these vehicles, the stock temperature sensor is made of brass and mounted directly into the cylinder, making it more susceptible to heat influence from the cylinder itself. “P-P1” applies compensation based on measurement data obtained using a method that reduces this influence, resulting in readings up to approximately 10° C lower than “P-P0” within the range up to 150° C.



【参考】クランクケース内のオイル温度
外気温 18℃・4000rpm 固定
※グラフは、エンジン始動後の温度上昇を示しています。実際には、シリンダーヘッドから戻ったオイルがクランクケース内の大量のオイルと混ざるため、純正温度センサーの温度変化に対して、温度の上昇・下降ともに遅れて変化します。

Aracer フルコン用・純正温度センサー利用 Uses stock temp sensor with Aracer ECU

P-07

Aracer 社（台湾）製フルコン用のプログラムです。

同社製 ECU は、内部回路（2020 年時点）が純正 ECU と異なるため、本データへ切り替えて使用する必要があります。
※Aracer 社製 ECU の基本設計の変更やモデルの違いにより適合しない場合があります。あらかじめご了承ください。

This program is designed for use with standalone ECUs manufactured by Aracer (Taiwan).

Because the internal circuitry of Aracer ECUs (as of 2020) differs from that of the factory ECU, it is necessary to switch to this data setting when using them. Please note that compatibility may vary depending on model differences or future changes to Aracer's basic ECU design.

オブミッド温度センサー用 for OPMID temp sensors

P-250

弊社製温度センサー専用のデータです。センサー内部に使用されている電子部品（サーミスタ）の特性が異なるため、他社製温度センサーでは使用できません。

This data is designed exclusively for our temp sensors. Temp sensors made by other manufacturers cannot be used because they utilize different electronic components (thermistors) inside the sensor.



ドレンボルト型温度センサー

※その他の温度計プログラム（P-E1、P-E5、P-E1A）は他車種向けのため、本製品では使用しません。

*Other temp meter programs (P-E1, P-E5, and P-E1A) are intended for different vehicle models and are not used with this product.

キット内容 Kit contents

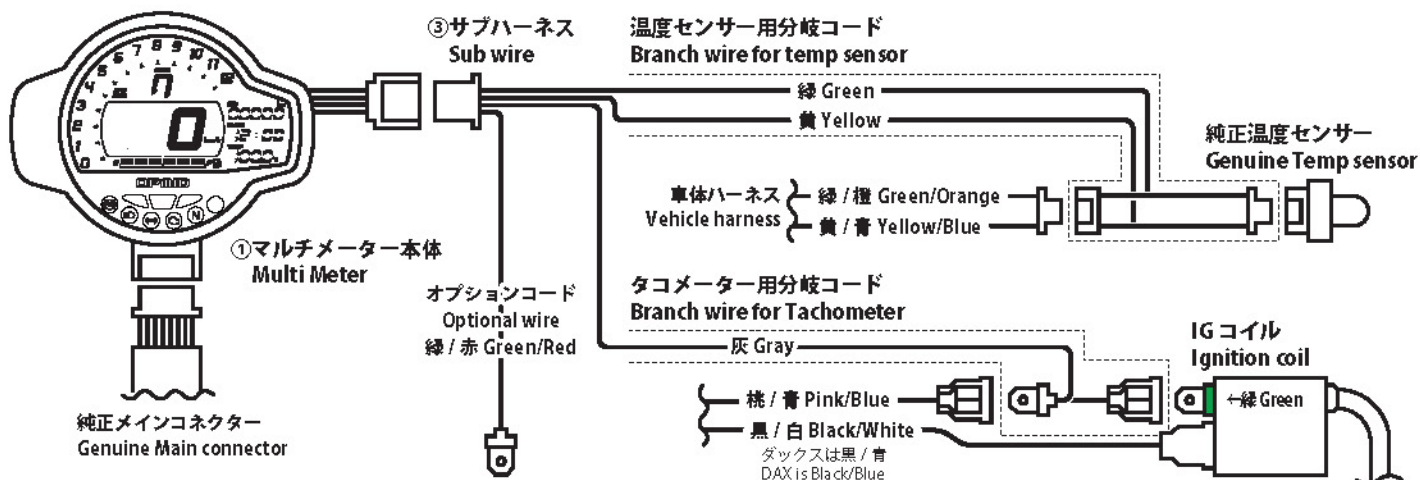
品番により、キット内容が異なります。

Kit contents vary depending on the part number.

		M1231	M1230
①	メーター本体 Multi Meter	x 1	x 1
②	ロアカバー Lower cover	x 1	x 1
③	サブハーネス Sub wire	x 1	x 1
④	結束バンド (200mm) Cable ties	x 5	x 5
⑤	クリップ付結束バンド Cable ties w/Clip	-	x 2

品番により、③の温度センサー用カプラーの形状が異なります。③の1本は予備です。
Depending on part number, the shape of temp sensor coupler for item ③ may differ.
One of ③ is a spare.

配線図 Wiring diagram



クラッチスイッチの読み込み Clutch switch reading

ダックス 125 および CT125 では接続不要です。
モンキー 125 についても、必要に応じて任意で接続してください。
Connection is not required for the Dax 125 or CT125.
For the Monkey 125, connection is optional and may be used as needed.



本機能は、算出式ギアポジション機能の補助機能で、対応車種はモンキー 125 のみです。接続するとクラッチスイッチの ON/OFF 信号を読み込み、クラッチレバーを握っている間はギア表示を固定します。クラッチスイッチが ON/OFF する角度は固定されているため、クラッチレバーの遊びが多い場合、作動タイミングのずれやギアポジションが切り替わらない原因となる場合がありますのでご注意ください。そのような症状が発生する場合は、本配線を接続しない運用も有効です。

本製品は、車速信号とエンジン回転数信号の比率からギアポジションを算出しています。この方式の特性上、停車中はギアポジションを算出できません。また、「クラッチを切っている間」のように、車速信号とエンジン回転数信号の関係が一定でない状態では、正確なギア段数を判定できません。

本機能は、このような誤表示を少しでも減らすため、クラッチスイッチの ON/OFF 信号を利用し、「クラッチを切っている間はギア表示を固定」するものです。

なお、本機能を使用しない場合でも、クラッチレバーを戻せば即座に正しいギア表示へ復帰するため、通常使用において大きな問題はありません。

This function is an assist feature for the calculated gear position system and is supported only for the Monkey 125. When connected, it reads the clutch switch ON/OFF signal and holds the gear display while the clutch lever is pulled. Because the clutch switch activation angle is fixed, excessive clutch lever free play may cause timing discrepancies or prevent gear position changes from being detected correctly. Please be aware of this characteristic. If such symptoms occur, operating without connecting this wiring may be preferable.

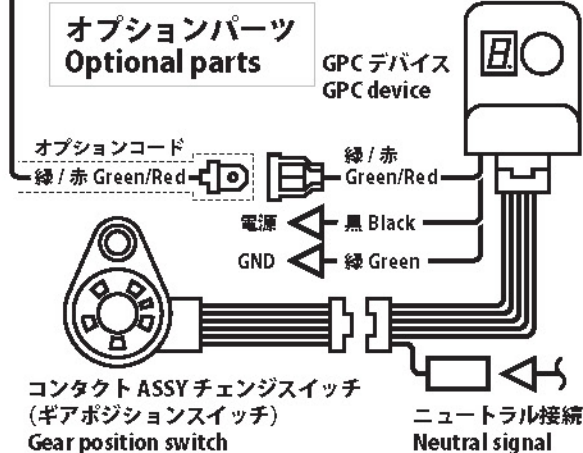
This product calculates gear position using the relationship between vehicle speed signals and engine RPM signals. Due to the nature of this method, gear position cannot be calculated while the vehicle is stopped.

In addition, when the relationship between vehicle speed and engine RPM signals becomes unstable—such as while the clutch is disengaged—accurate gear detection may not be possible.

This function reduces incorrect gear indications by using the clutch switch ON/OFF signal to hold the displayed gear position while the clutch is disengaged.

Even when this function is not used, the correct gear indication returns immediately once the clutch lever is released, so this generally does not cause practical issues during normal use.

GPC デバイスの接続 GPC Device Connection



コンタクト ASSY チェンジスイッチ (ギアポジションスイッチ)
Gear position switch

ニュートラル接続
Neutral signal

別売の GPC (Gear Position Connect) デバイスを接続できます。

GPC は、トランスミッションのシフトドラム角度を検知するギアポジションスイッチを利用し、メーターへギアポジションを表示するシステムです。機械式スイッチのため、停車中でも確実にギアポジションを表示できます。

GPC キットは車種別に設定しています。

キット内容、配線方法、およびメーター側の設定については、各キット付属の説明書をご確認ください。

An optional GPC (Gear Position Connect) device can be connected.

The GPC system uses a gear position switch that detects the rotational angle of the transmission shift drum and displays the current gear position on the meter.

Because it uses a switch-type detection method, the gear position can be displayed reliably even while the vehicle is stopped.

Vehicle-specific GPC kits are available.

Please refer to the instruction manual included with each kit for details regarding kit contents, wiring, and meter settings.

燃料計の抵抗値について About resistance value of Fuel gauge

フューエルレベルセンサーのフロートが上がった時（満量）と下がった時（空量）の抵抗値を任意の値に変更することが可能です。

出荷時の設定値は純正メーターと同様の抵抗値に設定していますので、通常は変更する必要はありません。

燃料タンクの改造した場合や他車流用、減り方を調整したい場合にご利用ください。

The resistance values for the fuel level sensor can be adjusted for both the float-up position (full tank) and float-down position (empty tank).

The factory default settings are configured to match the resistance values used by the stock meter, so adjustment is normally not required.

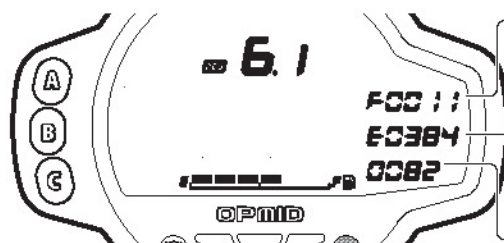
Use this function when modifying the fuel tank, adapting parts from another vehicle, or adjusting the fuel gauge indication characteristics.

6.1

6.2

設定操作方法は P2・P3 に記載。

The setting method is described on P2 and P5.



6.1

「満量」の抵抗値を入力

標準値：0011Ω

入力範囲：0000～2999Ω

Enter resistance of "Full"

Standard: 0011Ω

Range: 0000~2999Ω

6.2

「空量」の抵抗値を入力

標準値：0384Ω

入力範囲：0000～2999Ω

Enter resistance of "Empty"

Standard: 0384Ω

Range: 0000~2999Ω

実測値

現在のフューエルレベルセンサーの抵抗値 ※分解能の関係で多少の誤差が生じます。

Current fuel level sensor resistance *Some errors may occur due to resolution.

「満量」と「空量」の抵抗値を基準に、6段階の目盛り表示（6/6～1/6）と、点滅表示（0/6）を加えた合計7段階に抵抗値を振り分けます。

「満量」と「空量」の抵抗値の差を100%として、「満量」側は「空量」方向へ5%補正することで、満タン給油直後に表示が[6/6]から[5/6]へ減少してしまう現象を防止しています。

また、「空量」側は「満量」方向へ14%補正することで、ガス欠になる前に[0/6]を表示します。

さらに、[5/6]～[1/6]の5段階には変化幅の係数を設けており、抵抗値は等間隔ではなく、緩やかなカーブを描くように変化します。

※分解能の関係上、多少の誤差が生じます。

Based on the resistance values for "Full" and "Empty," the fuel gauge distributes the values across a total of seven display stages: six level indicators [6/6 to 1/6] plus one flashing indicator [0/6]. The difference between the "Full" and "Empty" resistance values is treated as 100%. To prevent the display from dropping from [6/6] to [5/6] immediately after refueling, the "Full" side is offset by 5% toward the "Empty" side. In addition, the "Empty" side is offset by 14% toward the "Full" side so that [0/6] is displayed before the vehicle actually runs out of fuel. Furthermore, the five stages from [5/6] to [1/6] use variable transition coefficients, causing the resistance values to change along a gradual curve rather than at equal intervals. * Slight deviations may occur due to resolution limitations.

例) グロム (JC61) 満量：10Ω、空量：266Ω Example) Grom (JC61) Full: 10Ω, Empty: 266Ω

表示	6/6 (満量 Full)	5/6	4/6	3/6	2/6	1/6	0/6 (空量 Empty)
抵抗値	0～22.8Ω	22.9～44.8Ω	44.9～72.2Ω	72.3～107.0Ω	107.1～154.7Ω	154.8～230.2Ω	230.1Ω～

計算式：「満量」+（「空量」-「満量」）×0.05

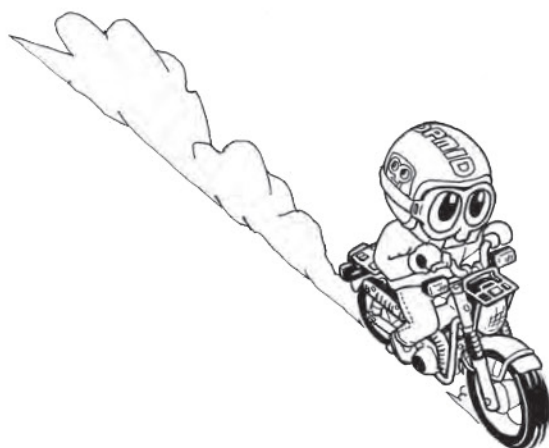
例：10Ω +（266Ω - 10Ω）×0.05=22.8Ω

計算式：「空量」-（「空量」-「満量」）×0.05

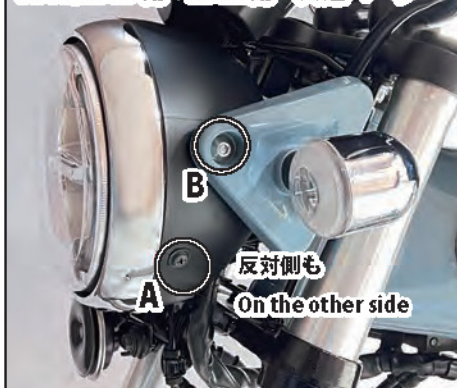
例：266Ω -（266Ω - 10Ω）×0.14=230.2Ω

「満量」と「空量」に同じ抵抗値を入力すると、「燃料計を使わない」設定となり、燃料計が非表示となります。

If you enter the same resistance value for "Full" and "Empty", it will be set to "Do not use Fuel gauge" and Fuel gauge will be hidden.



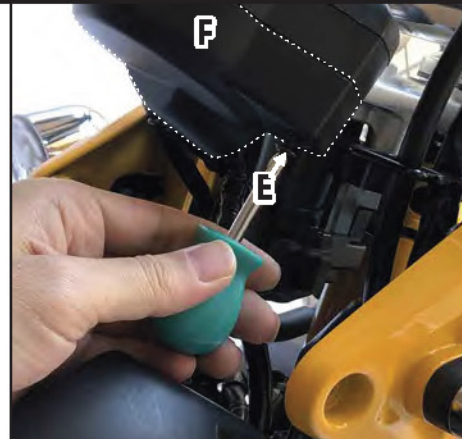
JB03/JB05 用・JB02 用 共通ページ



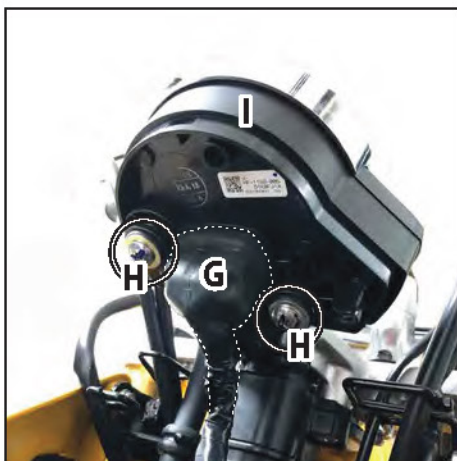
- スクリュー2本[A]を外し、コネクタを抜きながらヘッドライトを外します。
- スクリュー2本[B]を外します。
- Remove 2x Screws [A] and remove Headlight.
- Remove 2x Screws [B].



- ライトケースの中のボルト[C]を外します。
- ハーネスクリップ[D]をつまんで押し出します。
- ヘッドライトケースを押し下げます。
- Remove Bolt [C] inside Light case.
- Pinch Harness clip [D] and push it out.
- Push down on the headlight case.



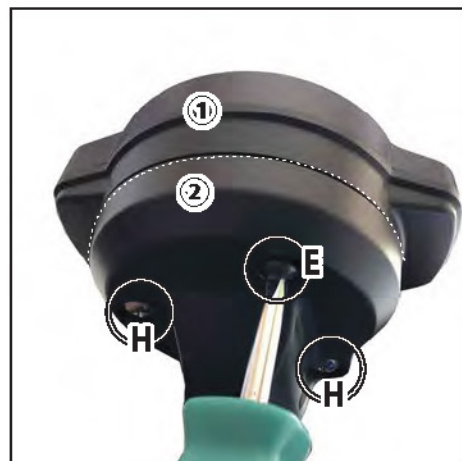
- スクリュー[E]を外し、メーターのロアカバー[F]を外します。
- 外したスクリュー[E]は再利用します。
- Remove Screw [E] and remove Lower cover [F].
- Removed Screw [E] will be reused.



- メインコネクタ[G]を抜きます。
- スクリュー2本[H]を外し、ステーから純正メーター本体[I]を取り外します。
- 外したスクリュー[H]は再利用します。
- Unplug Main Connector [G].
- Remove 2x screws [H] and remove Genuine Meter [I] from Bracket.
- Removed Screws [H] will be reused.



- ①マルチメーターをステーに取り付けます。
- メインコネクタ[G]を接続します。スクリューはまだ取り付けません。
- Attach ① Multimeter to Bracket.
- Connect Main connector [G].
- Do not attach Screws yet.



- ①マルチメーターに付属の②ロアカバーをはめ、3本の純正スクリューを取り付けます。
- スクリュー[E]は黒色、スクリュー[H]は銀色。
- ※ワッシャーは使用しません。
- Fit ② Lower cover under ① Multimeter and attach 3x Genuine Screws.
- Screw [E] is Black and Screw [H] is Silver.
- *Does not use washers.



- スクリュー[J]を外し、左エアクリーナーカバー[K]を外します。
- Remove Screw [J] and remove L-Air cleaner cover [K].



- 2本のボルト[L]を外し、シート[M]を取り外します。
- Remove 2x Bolts [L] and remove Seat [M].

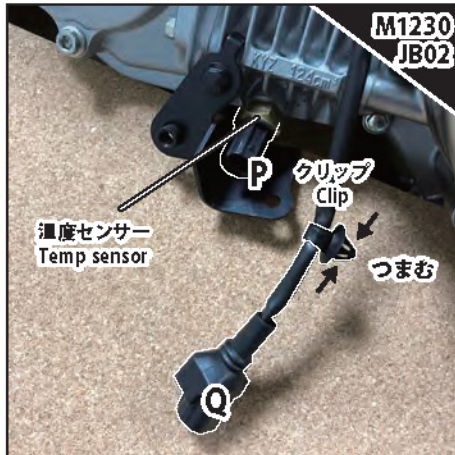


- 鍵[N]でサイドカバー[O]を外します。
- Remove Side cover [O] with Key [N].

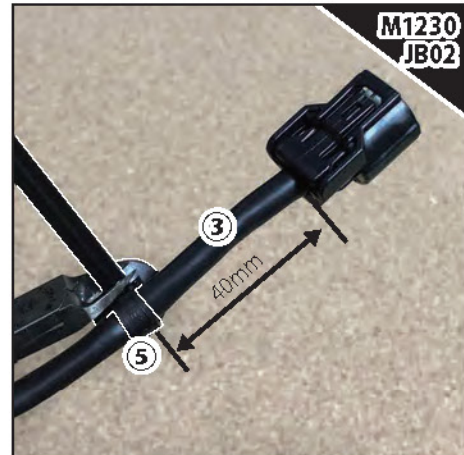
Monkey125



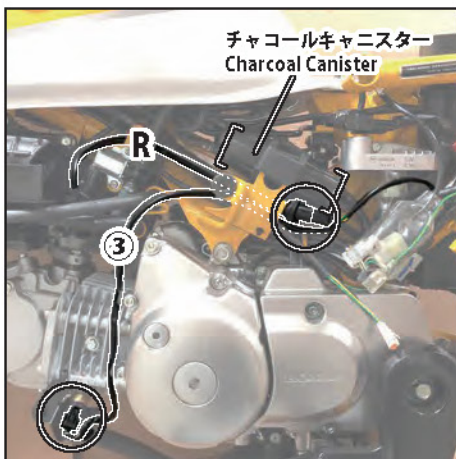
■シリンダーヘッドの左下にある純正温度センサー[P]のコネクタ-[Q]を外します。
※温度センサーの配線が完了するまで、メインキーをONにしないでください。
■Unplug connector [Q] of genuine temp sensor [P] at bottom left of cylinder head. ※Do not turn main switch ON until temp sensor wiring has been completed.



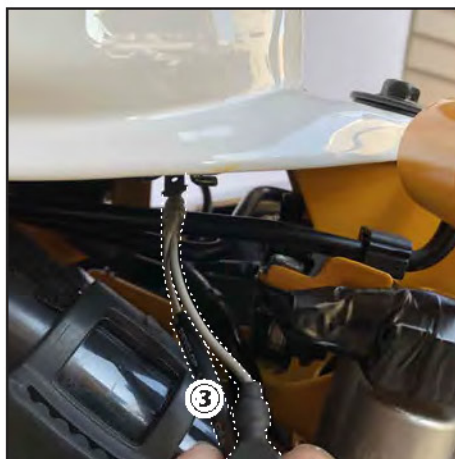
★JB02のみ★
■シリンダーの左下にある純正温度センサー[P]のコネクタ-[Q]とクリップを外します。
※温度センサーの配線が完了するまで、メインキーをONにしないでください。
■Unplug connector [Q] of genuine temp sensor [Q] at bottom left of cylinder. ※Do not turn main switch ON until temp sensor wiring has been completed.



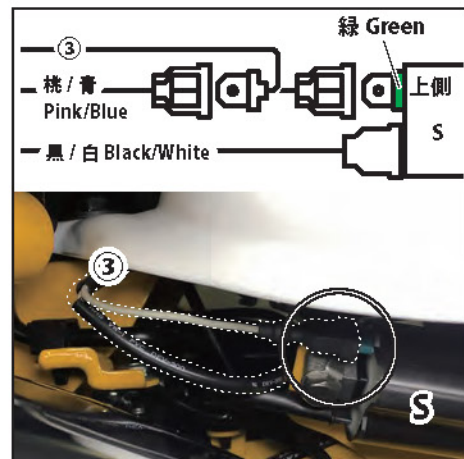
★JB02のみ★
■③サブハーネスの大きなコネクタから40mmの位置に③クリップ付き結束バンドを取り付けます。
■Attach ③Cable ties w/clip to 40mm position from ③ Sensor sub wire's connector.



■チャコールキャニスターを少し持ち上げます。
■純正温度センサーコード[R]と③サブハーネスの温度センサー分岐コードを接続し、チャコールキャニスターの下に通します。
■③サブハーネスの温度センサー分岐コードを純正温度センサーへ接続します。
■ Lift the charcoal canister slightly. ■ Connect stock temp sensor wire [R] to temp sensor branch wire of sub harness ③. ■ Connect temp sensor branch wire from sub harness ③ to the stock temp sensor.



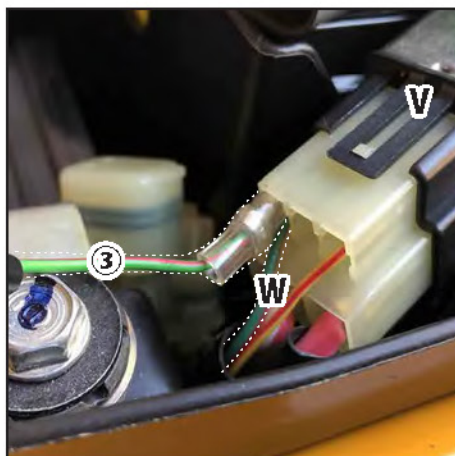
■③サブハーネスのタコメーター用分岐コードをタンク後方の下の隙間から反対側へ通します。
■Pass Tachometer branch wire of ③ Sub wire from gap under rear of Tank to opposite side.



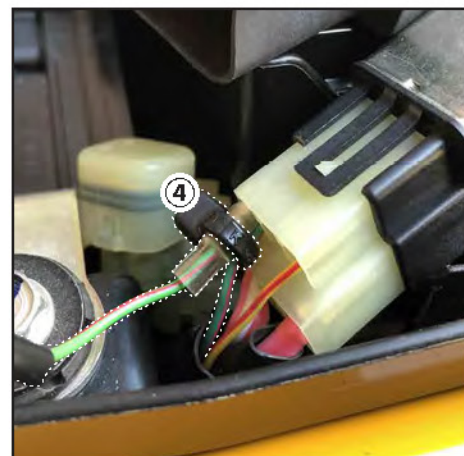
■③サブハーネスのタコメーター用分岐コードをイグニッションコイル[S]の上側のコネクタに割り込ませます。
■Insert Branch wire of ③ Sub wire into connector on upper side of IG coil [S].



★GPCを接続する場合、この作業は不要
★Not required when installing GPC
■③サブハーネスのオプションコードをシート下のスターターリレー[T]のところに取り回します。
■端子に付いている黒い保護カバー[U]を外します。
■Route Optional wire of ③ Sub wire to Starter Relay [T] under Seat.
■Remove Black protective cover [U] attached to Terminal.



■③サブコードのオプションコードをスターターリレー[V]の緑/赤コード[W]の端子穴に奥までしっかりと差込みます。
Insert Optional wire of ③ Sub wire firmly into Hole of Green/Red wire [W] of Starter relay [V].



■④結束バンドで2本のコードの縛り抜け防止をします。
■Tie two wire with ④ Cable tie to prevent them from coming off.

Monkey125



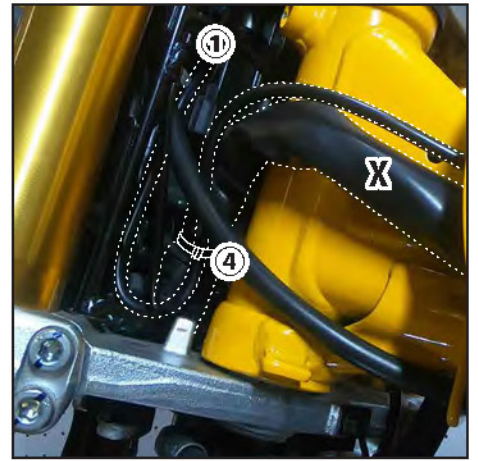
■③サブハーネスをメインハーネスに沿わせていきます。

■Align ③ Sub wire along Main harness.



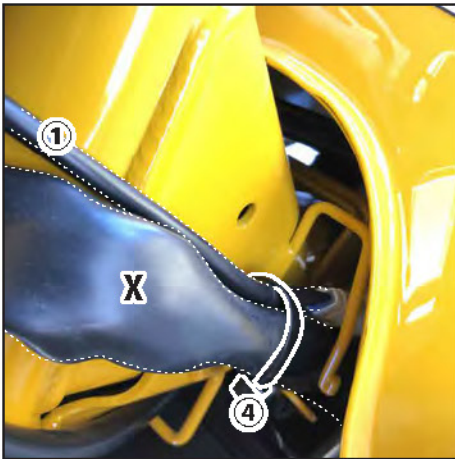
■①マルチメーター側のコードと③サブハーネスをタンクの下で接続します。

■Connect wire on ① Multi meter side and ③ Sub wire under Tank.



■④結束バンドを使い、ステム側のメインハーネス[X]に固定します。

■Use ④ cable tie to secure it to main harness [X] on stem side.



■④結束バンドを使い、フレーム側で①マルチメーターのコードをメインハーネス[X]に固定します。

■特に白いコネクタの前をしっかりと固定します。
※ハンドルを左右に曲げても白いコネクタに負担がかからない事を確認。 ■Use ④ Cable tie to fix wire of ① Multimeter to Main harness [X]. Fix firmly, especially front of connector. *Move steering and check that there is no stress on connector.



■各配線を綺麗に納めます。

■Put each wiring neatly.



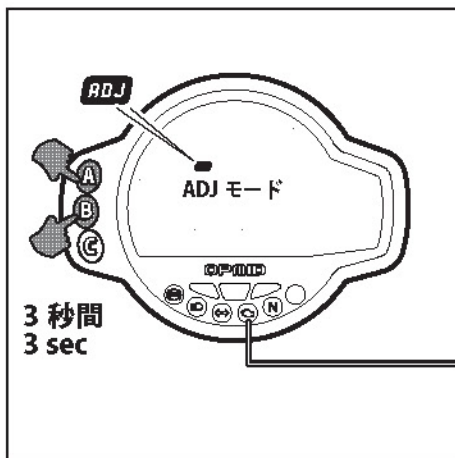
■エンジンを始動し、タコメーターと温度計（右下）が動くことを確認します。

■Start Engine and check that Tachometer and Thermometer (bottom right) are working.



逆の手順で元通りに組み立てます。

Reassemble in the reverse order.



■出荷時の設定値はモンキー125用になっています。

■設定方法はP2とP3に記載。

■Factory settings are for Monkey125

■Details on P2 & P5

温度センサー関連の接続が完了する前にメインキーをONにすると、コンピューター（ECM）が温度センサー異常を検知し、エンジン警告灯が点灯しますのでご注意ください。誤って点灯した場合は、その後正しく配線しても、しばらく点灯したままになります。その場合は、冷間時始動からの走行を3回程度行うことで、ECMが正常状態へ復帰したと判断し、警告灯が消灯します。（キーON→エンジン始動→走行→キーOFF）なお、実際に温度センサー異常が発生している場合は、始動時のアイドル回転数が低くなる（アイドルアップしない）症状が発生します。

Do not turn the main switch ON before completing all temp sensor related connections.

If the main switch is turned ON before wiring is completed, the ECM may detect a temp sensor fault and illuminate the engine warning lamp. If the warning lamp is triggered accidentally, it may remain illuminated for some time even after the wiring has been corrected properly. In such cases, the ECM will recognize normal operation and turn the warning lamp off after approximately three cold-start driving cycles. (Key ON → Engine start → Riding → Key OFF)

If an actual temperature sensor malfunction exists, symptoms such as reduced idle speed during startup (failure of idle-up control) may occur.

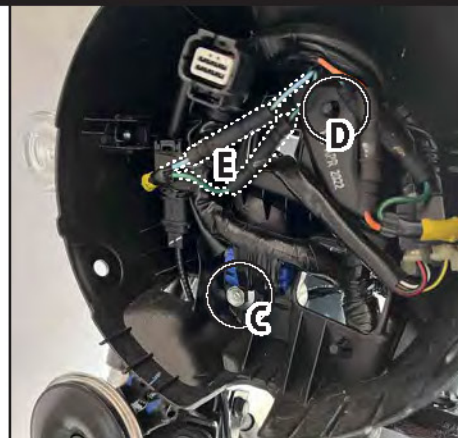
JB04/JB06 用



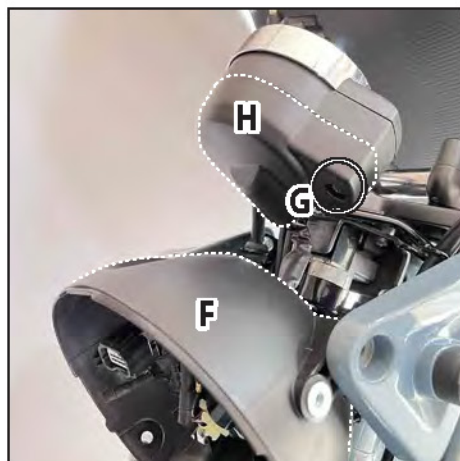
- スクリュー2本[A]を外します。
- スクリュー2本[B]を外します。
- Remove 2x Screws [A].
- Remove 2x Screws [B].



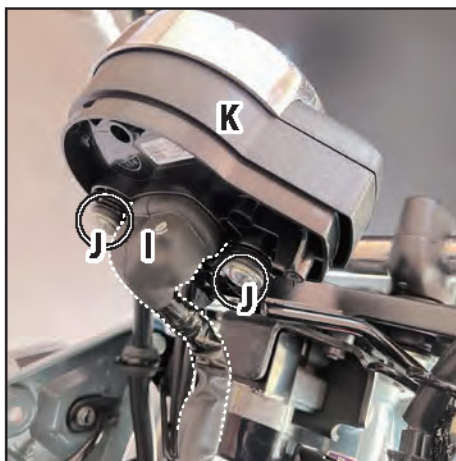
- ヘッドライト裏側のコネクターを抜きながらヘッドライトを外します。
- Remove headlight while unplugging connector on back.



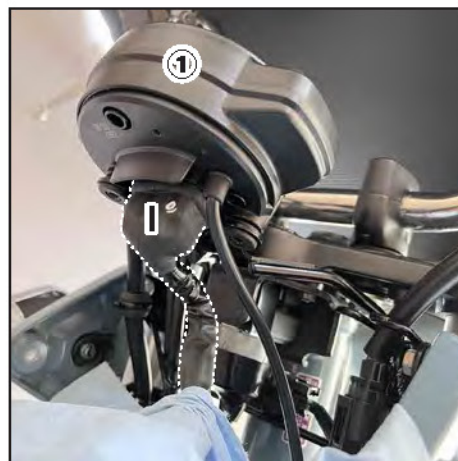
- ライトケースの中のボルト[C]を外します。
- ハーネスクリップ[D]をつまんで押し出します。
- 右ウインカーの配線[E]の接続を外します。
- Remove Bolt [C] inside Light case.
- Pinch Harness clip [D] and push it out.
- Disconnect the right turn signal wiring [E].



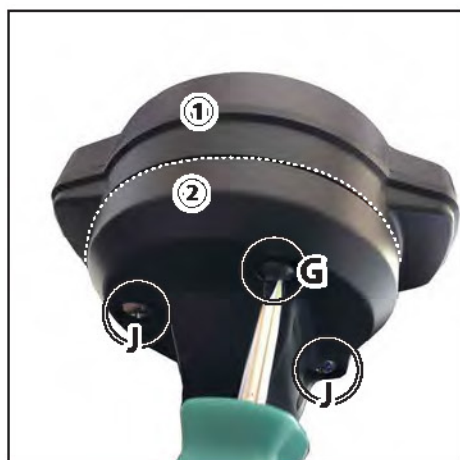
- ヘッドライトケース[F]を押し下げます。
- スクリュー[G]を外し、メーターのロアカバー[H]を外します。
- 外したスクリュー[G]は再利用します。
- Push down on headlight case [F].
- Remove Screw [G] and remove Lower cover [H].
- Screw [G] will be reused.



- メインコネクター[I]を抜きます。
- スクリュー2本[J]を外し、ステーから純正メーター本体[K]を取り外します。
- 外したスクリュー[J]は再利用します。
- Unplug Main Connector [I].
- Remove 2x screws [J] and remove Genuine Meter [K] from Bracket.
- Screws [J] will be reused.



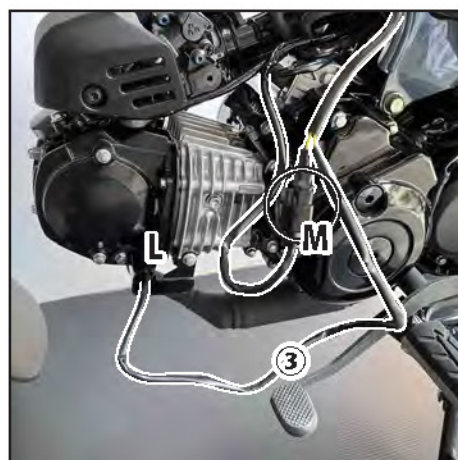
- ①マルチメーターをステーに取り付けます。
- メインコネクター[I]を接続します。
- スクリューはまだ取り付けません。
- Attach ① Multimeter to Bracket.
- Connect Main connector [I].
- Do not attach Screws yet.



- ①マルチメーターに付属の②ロアカバーをはめ、3本の純正スクリューを取り付けます。
- スクリュー[G]は黒色、スクリュー[J]は銀色。
- ※ワッシャーは使用しません。
- Fit ② Lower cover under ① Multimeter and attach 3x Genuine Screws.
- Screw [G] is Black and Screw [J] is Silver.
- *Does not use washers.

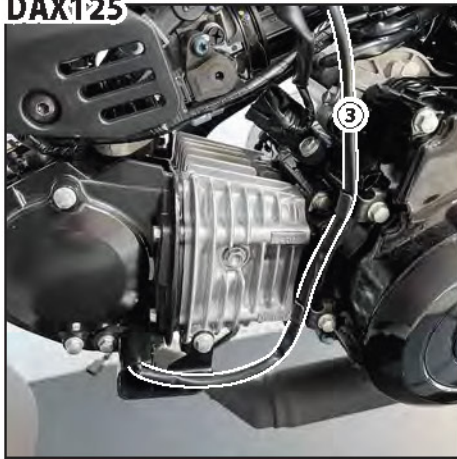


- シリンダーの左下にある純正温度センサー[L]のコネクター[M]を外します。
- ※温度センサーの配線が完了するまで、メインキーをONにしないでください。
- Unplug connector [M] of genuine temp sensor [L] at bottom left of cylinder. ※Do not turn main switch ON until temp sensor wiring has been completed.



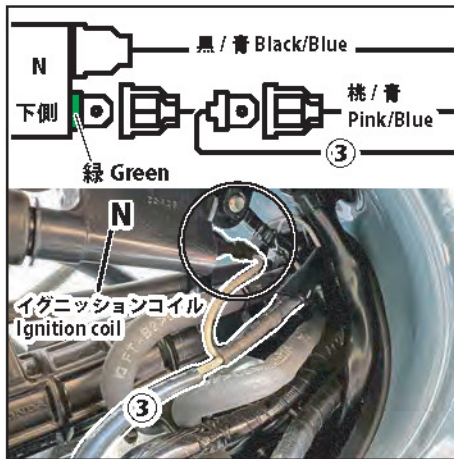
- ③サブハーネスの温度センサー分岐コードを純正温度センサー[L]に接続します。
- ③サブハーネスと純正コネクター[M]を接続します。
- Connect ③ Sub wire to Genuine Temp sensor [L].
- Connect ③ Sub wire and Genuine connector [M].

DAX125



■③サブハーネスの温度センサー用分岐コードを純正ハーネスと同様に左クランクケースカバーに添わせませす。

■③ Sub wire for Temp sensor to Left crankcase cover in the same way as Genuine harness.



■③サブハーネスをイグニッションコイル[N]のコネクターに割り込ませます。

■Insert ③ Sub wire into ignition coil [N] connector.

**ダックス 125 では使用しません。
Do not connect to DAX125**

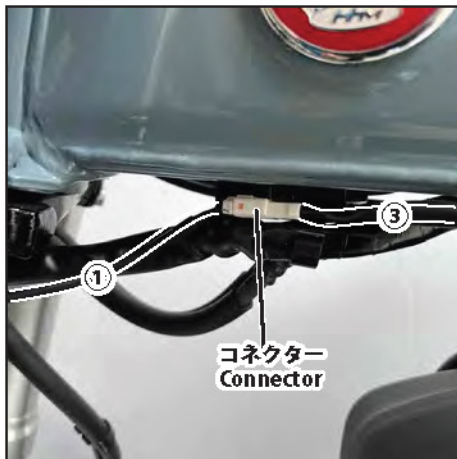
オプションコード Optional wire

— 緑 / 赤 Green/Red —



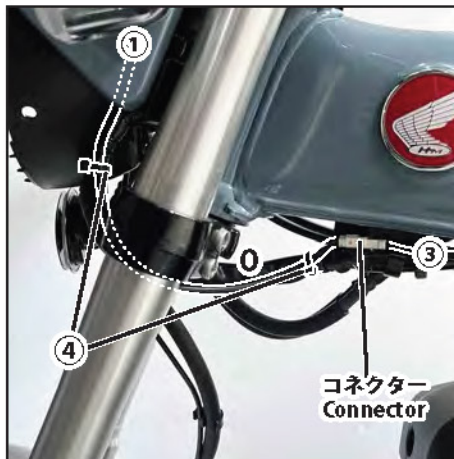
■オプションのGPCキットを組み合わせる際に使用します。

■ Used when installing the optional GPC kit together.



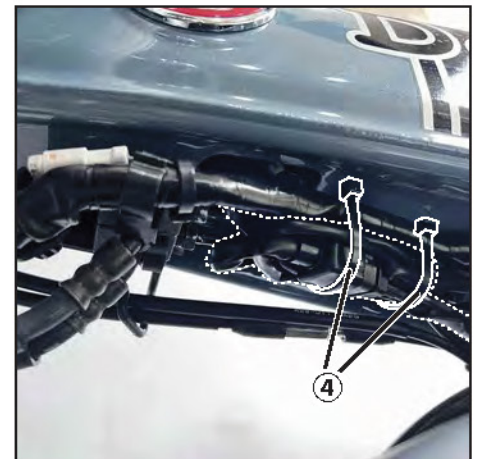
■①マルチメーター側のコードと③サブハーネスのコネクターを画像の位置で接続します。

■Connect wire on ① Multimeter side wire and ③ Sub wire at the position of Image.



■④結束バンド2本を使い、①マルチメーター側のコードをメインハーネス [0] に沿わせて固定します。

■特にコネクターの前をしっかりと固定します。※ハンドルを左右に切ってもコネクターに負担がかからない事を確認。■Use 2x ④ Cable ties to secure ① Multimeter side wire to main harness [0]. ■Firmly fix area, especially front of connector. *Move steering and check that there is no stress.



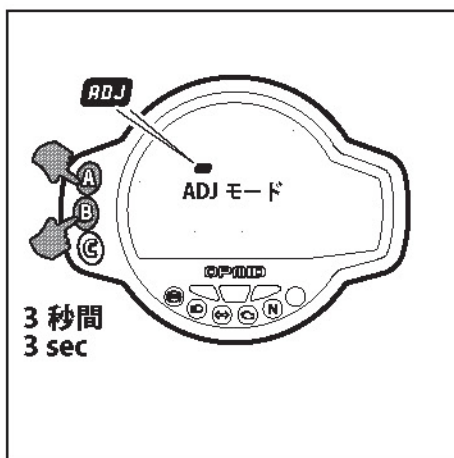
■④結束バンドを使い、温度センサー用コードやクラッチスイッチ用コードを束ねて、画像の位置に収めます。

■Use ④ Cable tie to bundle wires together and place them at the image position.



■これで完成です。逆の手順で組み立てます。

■Assemble in reverse order.



■出荷時の設定値はモンキー125用になっていますので、ダックス125用に変更してください。

■設定方法はP2とP3に記載。

■Factory settings are for MONKEY125, so please change section for DAX125.

■Details on P2 & P5

ダックス 125 用に設定変更が必要です。

- [1.4] フロントスプロケットの歯数：15T
- [1.5] リアスプロケットの歯数：34T
- [1.6] 車速信号数：24
- [1.7] リアタイヤ直径：477mm
- [5.1] 1次減速比：3.421
- [5.2] 変速比 1速：2.500
- [5.3] 変速比 2速：1.550
- [5.4] 変速比 3速：1.150
- [5.5] 変速比 4速：0.923
- [5.6] 変速比 5速：NON

Settings need to be changed for DAX125.

- [1.4] Front sprocket : 15T
- [1.5] Rear sprocket : 34T
- [1.6] Speed signal count : 24
- [1.7] Rear tire diameter : 477mm
- [5.1] Primary Reduction Ratio : 3.421
- [5.2] Gear Ratio 1st : 2.500
- [5.3] Gear Ratio 2nd : 1.550
- [5.4] Gear Ratio 3rd : 1.150
- [5.5] Gear Ratio 4th : 0.923
- [5.6] Gear Ratio 5th : NON

JA65 用・JA55 用 共通ページ



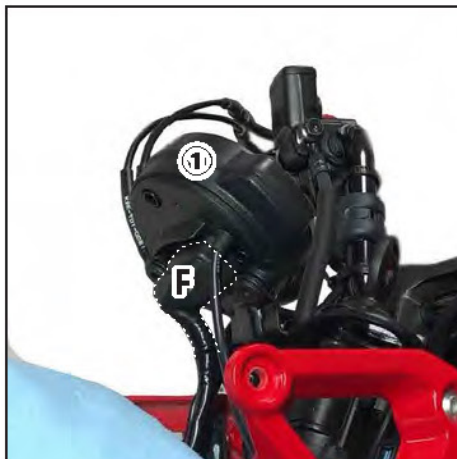
- スクリュー2本[A]を外し、コネクターを抜きながらヘッドライトを外します。
- スクリュー2本[B]を外します。
- Remove 2x Screws [A] and remove Headlight.
- Remove 2x Screws [B].



- ヘッドライトケース[C]を押し下げます。
- スクリュー[D]を外し、メーターのロアカバー[E]を外します。
- 外したスクリュー[D]は再利用します。
- Press down on Headlight case [C].
- Remove Screw [D] and remove Lower cover [E].
- Removed Screw [D] will be reused.



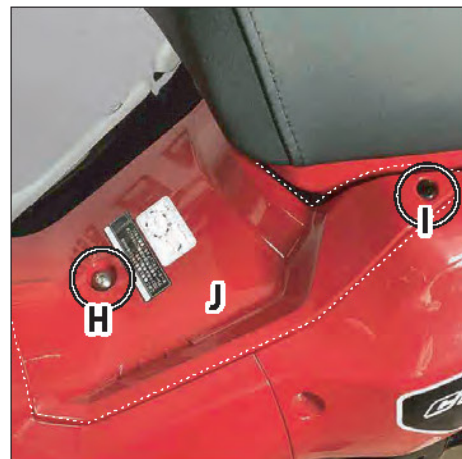
- メインコネクター[F]を抜きます。
- スクリュー2本[G]を外し、ステーから純正メーター本体[H]を取り外します。
- 外したスクリュー[G]は再利用します。
- Unplug Main Connector [F].
- Remove 2x screws [G] and remove Genuine Meter [H] from Bracket.
- Removed Screws [G] will be reused.



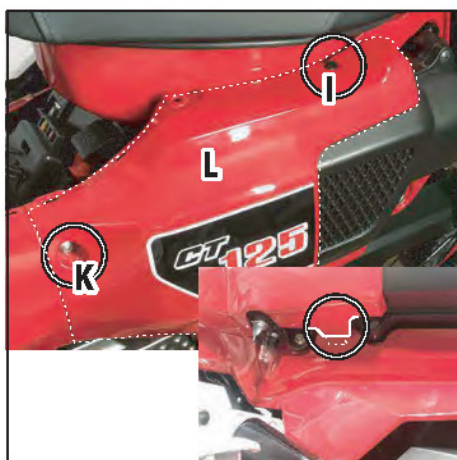
- ①マルチメーターをステーに取り付けます。
- メインコネクター[F]を接続します。
- スクリューはまだ取り付けません。
- Attach ① Multimeter to Bracket.
- Connect Main connector [F].
- Do not attach Screws yet.



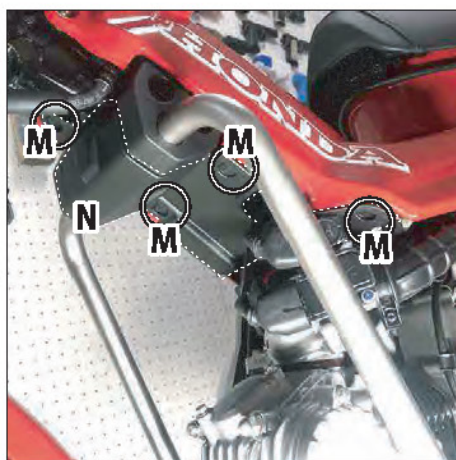
- ①マルチメーターに付属の②ロアカバーをはめ、3本の純正スクリューを取り付けます。
- スクリュー[D]は黒色、スクリュー[G]は銀色。
- ※ワッシャーは使用しません。
- Fit ② Lower cover under ① Multimeter and attach 3x Genuine Screws.
- Screw [D] is Black and Screw [G] is Silver.
- *Does not use washers.



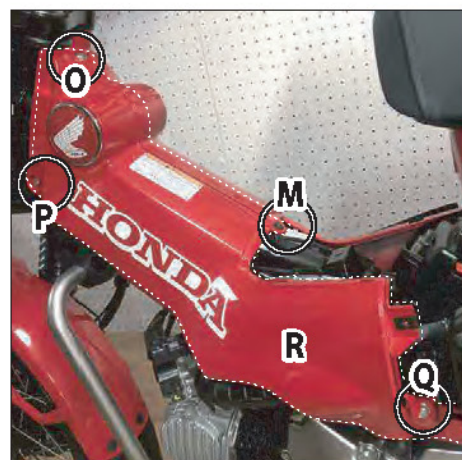
- スクリュー[H]とトリムクリップ (長) [I]を外し、センターカバー[J]を外します。
- Remove Screw [H] and Trim clip (long) [I] and remove Center cover [J].



- スクリュー[K]とトリムクリップ (長) [I]を外し、エアクリーナーガーニッシュ[L]を外します。※下部に差込部があります。
- Remove Screw [K] and Trim clip (long) [I], and remove Air cleaner garnish [L].

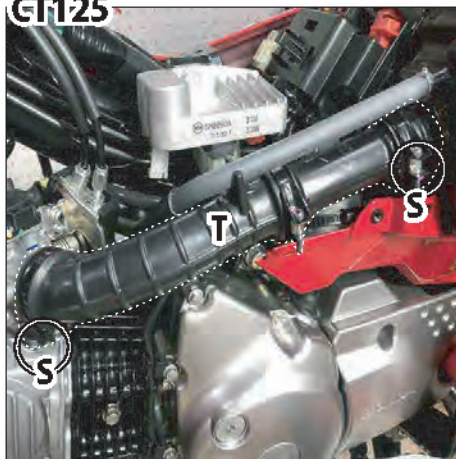


- トリムクリップ (短) [M]を4本外し、メインパイプロアカバー[N]を外します。
- (画像はJA55です)
- Remove the four trim clips (short) [M], then remove the main pipe lower cover [N].
- The image shown is JA55 model.



- スクリュー[O][P][Q]とトリムクリップ (短) [M]を外し、左メインパイプカバー[R]を外します。
- Remove Screws [O][P][Q] and Trim clip (short) [M] and remove Left main pipe cover [R].

GT125



■スクリュー2本[S]を緩めて、コネクティングチューブ[T]を外します。

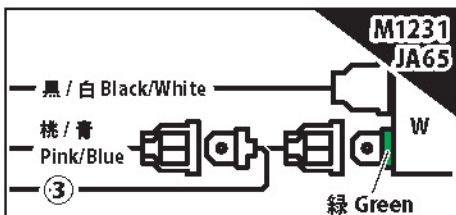
■Loosen 2x screws [S] and remove Connecting tube [T].



★JA55のみ★

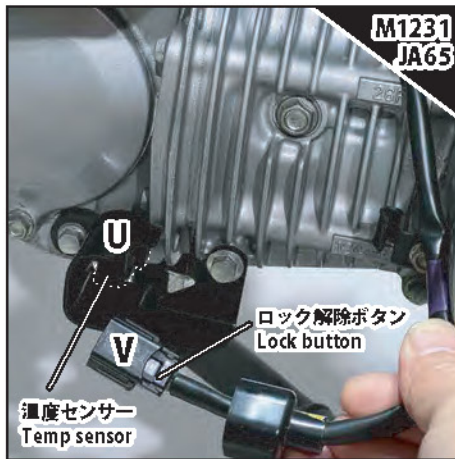
■③サブハーネスの大きなコネクタから40mmの位置に③クリップ付き結束バンドを取り付けます。

■Attach ③ Cable ties w/clip to 40mm position from ③ Sensor sub wire's connector.



■③サブハーネスのタコメーター用分岐コードをイグニッションコイル[W]の緑端子側(桃/青コード)に割り込ませます。■イグニッションコイルはフレーム右側にあり、桃/青コードは緑のチューブで保護されています。※接続端子を間違えるとタコメーターおよび温度計が動きません。

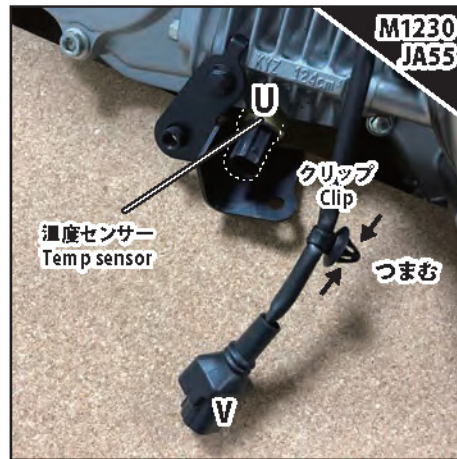
■Insert tachometer branch wire of ③ sub-harness into Green terminal side (pink/blue wire) of IG coil [W]. ■IG coil [W] is on right side of main frame.

M1231
JA65

■シリンダーヘッドの左下にある純正温度センサー[U]のコネクター[V]を外します。

※温度センサーの配線が完了するまで、メインキーをONにしないでください。

■Unplug connector [V] of genuine temp sensor [U] at bottom left of cylinder head. ※Do not turn main switch ON until temp sensor wiring has been completed.

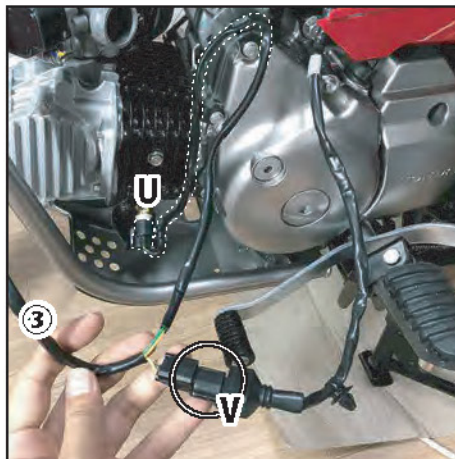
M1230
JA55

★JA55のみ★

■シリンダーの左下にある純正温度センサー[U]のコネクター[V]とクリップを外します。

※温度センサーの配線が完了するまで、メインキーをONにしないでください。

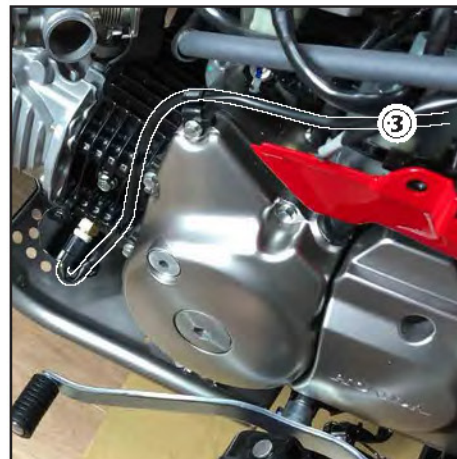
■Unplug connector [V] of genuine temp sensor [U] at bottom left of cylinder. ※Do not turn main switch ON until temp sensor wiring has been completed.



■③サブハーネスの温度センサー分岐コードを純正温度センサー[U]に接続します。

■Connect ③ Sub wire to Genuine Temp sensor [U].

■Connect ③ Sub wire and Genuine connector [V].

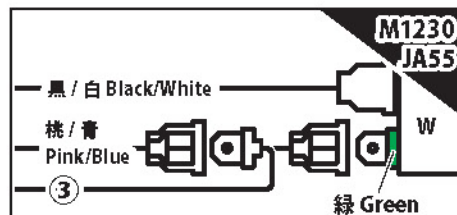


■③サブハーネスの温度センサー用分岐コードを純正ハーネスと同様に左クランクケースカバーに添わせませす。

■③ Sub wire for Temp sensor to Left crankcase cover in the same way as Genuine harness.



■右メインパイプカバー[X]の隙間から、イグニッションコイル[W]の緑端子側(桃/青コード)に割り込ませます。■Pass ③ Sub wire through gap in Right main pipe cover [X] to IG coil.

M1230
JA55

■③サブハーネスのタコメーター用分岐コードをイグニッションコイル[W]の緑端子側(桃/青コード)に割り込ませます。※接続端子を間違えるとタコメーターおよび温度計が動きません。

■Insert ③ Sub wire into green terminal side (Pink/blue) of IG coil [W]. *If you connect wrong terminal, tachometer and thermometer will not work.

CT125

CT125 では使用しません。
Do not connect to CT125

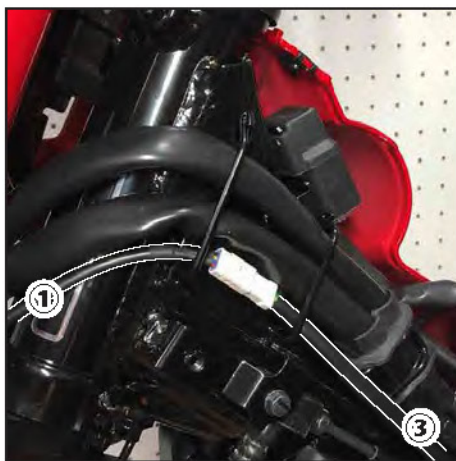
オプションコード Optional wire

緑 / 赤 Green/Red



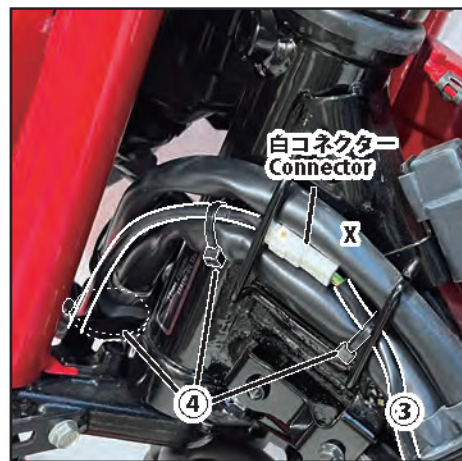
■ オプションのGPCキットを組み合わせる際に使用します。

■ Used when installing the optional GPC kit together.



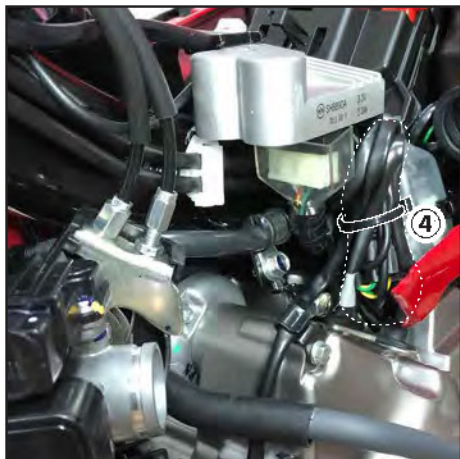
■ ①マルチメーター側のコードと③サブハーネスを画像の位置で接続します。

■ Connect wire on ① Multimeter side and ③ Sub wire at the position of Image.



■ ④結束バンド 3 本を使い、③サブハーネスをメインハーネス [X] に沿わせて固定します。■特にコネクタの前後をしっかり固定します。※ハンドルを左右に切ってもコネクタに負担がかからない事を確認。

■ Use 3x ④ Cable ties to secure ③ sub-harness to main harness [X]. ■ Firmly fix area, especially around connector. *Move steering and check that there is no stress on connector.



■ ④結束バンドを使い、温度センサー用コードやクラッチスイッチ用コードを束ねて、画像の位置に収めます。

■ これで完成です。逆の手順で組み立てます。

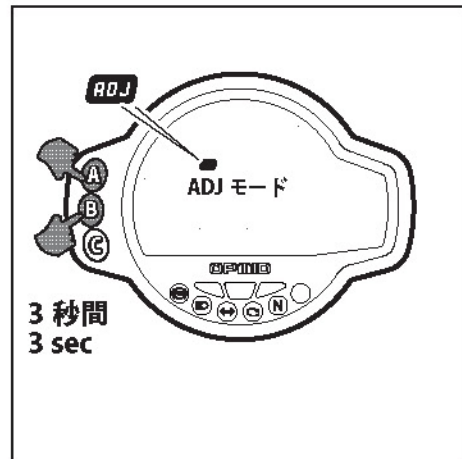
■ Use ④ Cable tie to bundle wires together and place them at the image position.

■ Assemble in reverse order.



■ エンジンを始動し、タコメーターと温度計（右下）が動くことを確認します。

■ Start Engine and check that Tachometer and Thermometer (bottom right) are working.



■ 出荷時の設定値はモンキー125用になっていますので、CT125用に変更してください。

■ 設定方法はP2とP3に記載。

■ Factory settings are for Monkey 125, so please change section for CT125.

■ Details on P2 & P5

JA65 用に設定変更が必要です。

M1231
JA65

- [1.4] フロントスプロケットの歯数：14T
- [1.5] リアスプロケットの歯数：38T
- [1.6] 車速信号数：24
- [1.7] リアタイヤ直径：554mm
- [5.1] 1次減速比：3.421
- [5.2] 変速比 1速：2.500
- [5.3] 変速比 2速：1.550
- [5.4] 変速比 3速：1.150
- [5.5] 変速比 4速：0.923
- [5.6] 変速比 5速：NON

Settings need to be changed for JA65.

M1231
JA65

- [1.4] Front sprocket：14T
- [1.5] Rear sprocket：38T
- [1.6] Speed signal count：24
- [1.7] Rear tire diameter：554mm
- [5.1] Primary Reduction Ratio：3.421
- [5.2] Gear Ratio 1st：2.500
- [5.3] Gear Ratio 2nd：1.550
- [5.4] Gear Ratio 3rd：1.150
- [5.5] Gear Ratio 4th：0.923
- [5.6] Gear Ratio 5th：NON

JA55 用に設定変更が必要です。

M1230
JA55

- [1.4] フロントスプロケットの歯数：14T
- [1.5] リアスプロケットの歯数：39T
- [1.6] 車速信号数：31
- [1.7] リアタイヤ直径：554mm
- [5.1] 1次減速比：3.350
- [5.2] 変速比 1速：2.500
- [5.3] 変速比 2速：1.550
- [5.4] 変速比 3速：1.150
- [5.5] 変速比 4速：0.923
- [5.6] 変速比 5速：NON

Settings need to be changed for JA55

M1230
JA55

- [1.4] Front sprocket：14T
- [1.5] Rear sprocket：39T
- [1.6] Speed signal count：31
- [1.7] Rear tire diameter：554mm
- [5.1] Primary Reduction Ratio：3.350
- [5.2] Gear Ratio 1st：2.500
- [5.3] Gear Ratio 2nd：1.550
- [5.4] Gear Ratio 3rd：1.150
- [5.5] Gear Ratio 4th：0.923
- [5.6] Gear Ratio 5th：NON

温度センサー関連の接続が完了する前にメインキーをONにすると、コンピューター（ECM）が温度センサー異常を検知し、エンジン警告灯が点灯しますのでご注意ください。誤って点灯した場合は、その後に正しく配線しても、しばらく点灯したままになります。その場合は、冷間時始動からの走行を3回程度行うことで、ECMが正常状態へ復帰したと判断し、警告灯が消灯します。（キーON→エンジン始動→走行→キーOFF）なお、実際に温度センサー異常が発生している場合は、始動時のアイドル回転数が低くなる（アイドルアップしない）症状が発生します。

Do not turn the main switch ON before completing all temp sensor related connections.

If the main switch is turned ON before wiring is completed, the ECM may detect a temp sensor fault and illuminate the engine warning lamp. If the warning lamp is triggered accidentally, it may remain illuminated for some time even after the wiring has been corrected properly. In such cases, the ECM will recognize normal operation and turn the warning lamp off after approximately three cold-start driving cycles. (Key ON → Engine start → Riding → Key OFF)

If an actual temperature sensor malfunction exists, symptoms such as reduced idle speed during startup (failure of idle-up control) may occur.